

明仁天皇はほのめかしの表現でのご説明を余儀なくされた

(スポーツニク 2016年08月11日 10:35)

© AFP 2016/ Katsumi Kasahara <http://goo.gl/u0Sri9>

7月13日、明仁天皇が生前退位の意向を表明されて以来、日本だけでなく世界中が事の進展を注視している。

ご表明がなされた後、様々な矛盾する報道がなされ、とうとう8日、明仁天皇は国民に対するビデオメッセージを發表された。ビデオではご高齢の身で公務を十分に果たすことが困難になるのではないかというご自身の憂慮が表された。スポーツニクの評論員からも明仁天皇の退位問題についてすでに幾度も見解が表されてきているが、今回はミハイル・シェインクマン評論員の論説をお届けしたい。

「10分間にわたる国民へのビデオメッセージはなんら具体的な内容ではない。直接的なほのめかしはごもっともな理由だと思う。

明仁天皇はご高齢にもかかわらず国民への支援のお気持ちを表し続け、自然災害で苦しむ地域に、また福島原発事故現場に近い地区にさえ何度も足を運ばれてきている。

それでも二度も大きな外科手術を受けられている。ロシア人なら、ご年齢の割にはお若く見えるというだろうが、こうした外見の裏が実はどうなのか、診察医以外誰も知らないし、知っているところで患者自身がほのめかしの説明をよしとしている場合、医師たちは何も語らないだろう。はっきりと認められたのは数年前に体力の低下を覚えるようになったということだけだ。かなり透明性の高い示唆を行うためにご自身よりずっと若年で退位した外国の国王の例をひくこともできただろう。ベルギー国王アルベルト2世は病気がちなことを理由に79歳で退位。スペインのホアン・カルロス1世などは数年前、息子に王位を譲った際はわずか76歳だった。この国王は40年近くも王位にあって世界でも最も人気の高い国王として有名だった。8度の手術にもかかわらず、退位の原因は家臣らが王座への信頼をなくしたからだとされている。

明仁天皇を正しく理解するとすれば、国民にとって象徴としての務めが十分に果たせなくなるのではと語られるとき、天皇が憂慮されているのはまさにこの点なのだ。とはいえ天皇の義務は本質的には単に象徴的なものであることは万人が知っているのだが。

儀式、レセプション、宮中の小さな田んぼで行われる田植え。権利と義務のすべては記載されている。

1817年、光格天皇が退位するときなど、それをとやかく言うものは誰もいなかった。息子に皇位を譲ると、残りの人生は心の赴くままに生きた。ところが明仁天皇の場合、退位出来ないどころではない。それについて直接語ることもさへ憚れる状態だ。デリケートなほのめかしをするほかは無い。

とはいえ、このほのめかし、安倍首相には通じた。首相は「重く受け止める」と発言している。事は重大だ。憲法も変えねばならない。なぜなら憲法にはこのような形の退位は書かれていないからだ。明仁天皇自身、27年前に皇位を継承したのは裕仁天皇の崩御のあとだった。62年間にわたって皇位にあった裕仁天皇は87歳で崩御した。」

<http://sptnkne.ws/bT5P>

OPEC 2017年の石油需要は記録的に高まると予想

(スポーツニク 2016年08月11日 12:49)

© Fotolia/ Tarasov_vl <http://goo.gl/Pf9mNM>

来年2017年、世界の石油消費は、新記録に達し、一昼夜9,541万バレルになる。10日、水曜日に発表されたOPEC（石油輸出機構）の月間報告書の中では、このように述べられている。

なお今年2016年の石油需要の予測は、一昼夜9,426万バレルで、3万バレル増えるが見られている。需要の伸びは、今年上半期、欧州やアジアのいくつかの国々で石油消費量が増えたことと関係している。

今年OPECは、ロシアにおける原油探掘量は1日1,098万バレルまで増加すると予測しているが、来年2017年には1,094万バレルに下がると見ている。

8日、OPECのサダ議長（カタールのエネルギー・産業相）は「今年後半、石油の需要は伸びる。落ち込みは一時的なものだ」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/bT5X>

北朝鮮 日本に大惨事を予告

(スポーツニク 2016年08月11日 12:46)

© AFP 2016/ Mandel NGAN <http://goo.gl/hK0bKc>

日本当局が、軍事的潜在力拡大を目指すのであれば、それは「日本に大惨事をもたらすことになるだろう」—朝鮮民主主義人民共和国の政府系新聞「ミンジュ・チョソン」は、日本の防衛政策を批判する論文を掲載した中で、そうした予想を伝えた。

論文の筆者は、次のように強調している—

「日本の反動勢力が、執拗に近代兵器購入を志していることに気付かないわけにはいかない。

日本当局は、超近代的な兵器や軍事用設備を手に入れるためだけに、天文学的な額の軍事予算を抛出する用意ができています。」

新聞はまた、日本指導部に対し、軍国主義化の野望を持ち、米国の支援のもと「国際的な軍事的緊張のエスカレートを繰り返そうとしている」として強く非難した。先に伝えられたところによると、日本の今年度の防衛予算は、386 億円増え 4 兆 8,600 億円（476 億 5 千万ドル）となった。

<http://sptnkne.ws/bT5T>

プーチン大統領、クリミアのテロ防止についてコメント

(スプートニク 2016 年 08 月 11 日 14:48)

© Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <http://goo.gl/I6Z94c>

ロシアのプーチン大統領がキエフにより準備されたクリミアにおけるテロの防止についてコメントし、安全保障のため追加措置が取られるだろうと述べた。10 日、ロシア F S B は、クリミアで、ウクライナ国防省情報総局により準備されたテロを防止した、と発表した。

「自分たちの国の国民の大多数の経済的窮状から自国民（ウクライナ人）の注意を逸らすことを除いて、このような行動をとるいかなる意味もない」とプーチン氏。クリミア市民の意見はテロで変更されることはない、と述べた。

「もちろん、このような条件で、ノルマンディーフォーマットで、それも中国で（G20 サミットで、ということ）会談しても無意味だ。どうやら、キエフで政権を奪取し、それを維持し続けている人々は、妥協を求めたり、平和的解決への道を探す代わりにテロの実行に移行したようだ」。プーチン大統領がアルメニア大統領セルジ・サルキシヤン氏との会談後の記者会見で述べた。

8 月 7 日にかけての夜、7 人からなる工作員のグループがアルミャンスクから遠くないところへ上陸、F S B の特殊部隊のグループがこれを発見。銃撃戦で特殊部隊員 1 人と工作員 2 人が死亡。残りの 5 人は生還した。ほとんどがクリミア市民で、何人かはロシアのパスポートを所持していたが、本物かどうかは確認を要する。

拘束された者はウクライナ国防省中央総局と協力し、そこで上陸訓練も受けた、と述べた。また、彼らはクリミアに向けられたいくつかの同様のグループの一つに過ぎなかった、と述べた。工作員らは人命の損失を出さずに半島にパニックを広げ「観光業を殺す」ための一連の爆発を計画していたという。

<http://sptnkne.ws/bT6e>

日本の海上保安隊、尖閣周辺で沈没した中国船から人員を救出

(スプートニク 2016年08月11日 15:51)

© AP Photo/ Luo Zhengguang <http://goo.gl/4x7UAa>

日本の外務省は中国に対し、係争を抱える尖閣諸島（魚釣島）付近の貨物船とスクーター船の衝突後、6人の中国人船員を救出したについて、通知した。木曜、東シナ海の尖閣諸島付近で中国のスクーター漁船とギリシャの旗を掲げる貨物船が衝突。中国船は沈没した。日本の海上保安隊員らが現場に急行、沈没船の乗員6人を救出した。

現在、海上保安隊員らは、周辺地域を探索し、遭難者が存在しないことを確認している。共同通信によると、情報は外交ルートを通じて中国側に伝えられた。中国は謝意を表した。先に伝えられたところによると、日本は、尖閣諸島周辺の接続領域に230以上の中国船がいたことを受け、中国に1日で2度目抗議した。

<http://sptnkne.ws/bT6m>

英スカイニュース、俳優を「シリアのロシア傭兵」と偽る（動画）

(スプートニク 2016年08月11日 16:05)

© 写真: HD News 1/2 <http://goo.gl/TNP0xg>

スカイニュースがアサドの政権軍側についてシリアでロシアが行う軍事作戦に傭兵として参加していると語るロシア人とのインタビューを公開した。アレクサンドルおよびドミートリイを名乗る男性が、民間企業「ワグネル」に雇われ、軍用輸送機でシリアに送られ、月3,000英ポンドで戦いに参加した、と述べた。ロシア傭兵500~600人が死亡しており、少なくとも50人の元傭兵が「身分証なしでモスクワの街を歩いている」とも。

動画 <https://youtu.be/HvW30BJDVS8>

しかし、ロシアのテレビチャンネルNTVは、スカイニュースのこのインタビューの信憑性を否定した。

NTVによると、スカイニュースの撮影クルー数人が数カ月前にロシアを訪れ、秘密の「ワグネル部隊」参加者を探したが見つからず、地元の俳優を使うことを決めた。そこでモスクワの劇場スタジオ所属俳優オレグ・ブダンコフ氏が選ばれた。

「仕事」の報酬で俳優は10万ルーブルを支払われた。撮影に同意した理由は、「誰もが簡単に稼げるお金を探している」と説明された。

氏はN T Vにインタビューの録音音声を提出した。これが「存在しないシリアのロシア傭兵について話す暗いシルエット」の正体が自分であることの証拠だという。

先に伝えられたところによると、トルコの国境警備隊がシリアで負傷した米諜報員を助けた。

<http://sptnkne.ws/bT62>

訓練励行：米海軍、日本の基地を英国とシェア

(スポーツニク 2016年08月11日 19:09)

◎ REUTERS/ Kyodo <http://goo.gl/JRXqoD>

英国の兵士が日本の米空軍基地で訓練を受けた。英国防省発表をジャパントイムズが本日伝えた。

これは日本と米国の間での相互協力及び安全保障に関する協定への直接的な違反。情報の自由に関する法律によって要求に応じて公開された英国国防省のデータによると、沖縄の米空軍基地で2015年1月から米海兵隊員とともに英国海兵隊の副官2人の訓練が行われた。「ジャングルでの戦闘訓練」などが行われたという。

日米間の相互協力及び安全保障に関する現行の協定では、米軍基地で第三国の兵士の訓練は想定されていない。唯一の例外は国連平和維持軍の一部をなす7つの米軍基地だが、英国海兵隊が駐留していたキャンプシュワブはそのうちのひとつではない。

<http://sptnkne.ws/bT8Q>

サウジアラビア、最多原油生産を記録

(スポーツニク 2016年08月11日 16:48)

◎ AP Photo/ Hasan Jamali, File 1/2 <http://goo.gl/kQvupy>

16年7月、サウジアラビアは1日1,067万バレルの原油を生産し、新たな記録を作った。O P E Cの月次報告で報じられた。サウジアラビアは1日1,056万バレルの原油を生産した昨年同時期の記録を破り、今年7月には大幅に生産を増やせた。夏季の高い原油需要は、より活発にエアコン利用を強いた天候条件が、地元エネルギー企業によるエネルギー需要の拡大をもたらしたと説明される。

<http://sptnkne.ws/bT9c>

中国、天然ガス輸入を5倍に増やす

(スプートニク 2016年08月11日 17:12)

© Fotolia/ By-studio <http://goo.gl/WXLcx2>

2030年までに中国は天然ガスの輸入量を、15年の530億m³から、1,900~2,700m³まで増やす。中国石油天然気集団のサイトで報じられた。同社サイトでは次のように述べられている。

「海外からの天然ガス供給の増加は、中国により環境的にクリーンな燃料源を利用することに移行することを許す。」

中国の天然ガス輸入増加の理由の1つとなったのは、次の20年間で温暖化ガス排出をほぼ3割減らす義務を米中に課した米中間の協定だと指摘されている。

<http://sptnkne.ws/bT9r>

エクアドル、スウェーデンにジュリアン・アサンジ氏尋問を許可

(スプートニク 2016年08月11日 19:04)

© REUTERS/ Olivia Harris/Files <http://goo.gl/2d1gDX>

エクアドル検察庁は、4年以上ロンドンの同国大使館にいるサイト「ウィキリークス」創始者ジュリアン・アサンジ氏の尋問を求めるスウェーデンに同意した。同国外務省の発表。近日中に日取りが合意されるという。

アサンジ氏は2012年6月19日からロンドンのエクアドル大使館にいる。ウィキリークスでの活動に関連してスウェーデン当局が身柄を米国に引き渡すことを恐れてエクアドル当局に政治亡命を求めたのだ。先に伝えられたところによると、ウィキリークスは、クリントン氏の対ロシア新PR戦略を明らかにした。

<http://goo.gl/TLEidZ>

調査：現代世界の4580万人が奴隷

(スプートニク 2016年08月11日 21:21)

© Fotolia/ Vkara <http://goo.gl/fhfWCp>

11日公開された2016年の年間「グローバル奴隷指数」によると、現代世界には4,580万人の奴隷がいる。「グローバル奴隷指数」はウォーク・フリー財団が毎年算定しているもの。世界の労働お

よび性奴隷人口の推定数を報告し、また、世界各国の「奴隷リスク」について主観的な評価を下す。

2016年版では、世界の167の国についてのデータが含まれているが、シリア、イラク、リビア、アフガニスタン、イエメンなど交戦状態の国々については完全な情報がない。割合でみて奴隷制が最も広く行われている国は北朝鮮、ウズベキスタン、インド、カンボジア、カタール。

逆に最も少ないのがルクセンブルク、アイルランド、ノルウェー、デンマーク、スイス、オーストリア、スウェーデン、ベルギー、米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドとなった。ただし、これらの国に労働奴隷はほとんど存在しないが、性奴隷制のレベルは十分に高い、と指摘されている。

一部の専門家は、政治的な偏りを批判している。例えば、北朝鮮の労働収容所の囚人の労働は奴隷的とされている点について。しかし、どのような方法で算定しても、世界に数千万人の無慈悲な労働力や性的対象物として利用されている人々があることは確かであり、アナリストらは指標の重要性は一様に認めている。

先に公開されたデータによると、半数以上の英国人女性が職場でセクシャルハラスメントを受けたことがある。

<http://sptnkne.ws/bTB9>

ロシアでダーイシュへの10万以上のリクルート員がいるサイトが閉鎖

(スプートニク 2016年08月11日 21:31)

© Sputnik/ Vitaliy Belousov <http://goo.gl/UIWc4N>

ロシアでダーイシュ（イスラム国、IS）戦闘員をネット経由でリクルートしていた過激派組織の活動が停止された。ロシア連邦保安庁が報じた。報告では次のように述べられている。

「連邦安全保安庁は内務省と協力し、スヴェルドロフスク州、チュメニ州、チェリャビンスク州で、国際インターネットグループの活動を発見し阻止した。グループの名称はタジキスタン語からロシア語『イスラム国へのガイド』と翻訳される。グループはテロリストのイデオロギーのプロパガンダと、ダーイシュ戦闘員のリクルート、ダーイシュ資金のための金銭徴収のために創設された。」

連邦保安庁によると、ロシアと主にCIS諸国の外国合わせて10万人以上がメンバーに入っているこのグループは、ロシア、中東、北アフリカ諸国にいる数十の「テロのモデレーター」をコーディネートしているという。

8月10日、スヴェルドロフスク州、チュメニ州、チェリャビンスク州でグループ「ロフマン」の

メンバーの 27 の居住地で捜索が行われた。

連邦保安庁は次のように述べている。

「テロをプロパガンダするビデオ、過激派的文書、銀行カード、そして 3 丁の拳銃、4 つの手榴弾、コンピューター、携帯、約 500 グラムの爆薬、5 つの総重量 1 kg の TNT 爆弾、TNT 爆弾の電気雷管が押収された。」

先に伝えられたところによると、マスコミ報道：米国軍人「ダーイシュ」との戦いに関するデータを偽造した。

<http://sptnkne.ws/bTCg>

エルドアン大統領、米国に最後通牒突きつける

(スプートニク 2016 年 08 月 11 日 20:35)

© AFP 2016/STR/TURKISH PRESIDENTIAL PRESS OFFICE <http://goo.gl/5oPQ1C>

トルコのエルドアン大統領は米国にトルコがギュレン師を支持する団体「フェト」のどちらかを選ぶよう呼びかけた。ギュレン師はクーデターを企てたとしてトルコ政権に疑われている。トルコの公式通信社アナドル通信社が報じた。エルドアン大統領は次のように述べている。

「私は、あなたがたがこの人物（ギュレン師）を強制送還するか、我われに引き渡すかをするようにと述べた。しかし私の話は聞かれなかった。遅かれ早かれ米国は選択をすることになる。転覆を計画しているテロ組織「フェト」か、民主的なトルコかだ。米国は選択をしなくてはならなくなる。」

先に伝えられたところによると、ロシアとトルコは両国関係を危機前のレベルにする予定がある。

<http://sptnkne.ws/bTDN>

ウクライナ、クリミアとの国境の部隊の戦闘能力を強化されたものにする

(スプートニク 2016 年 08 月 12 日 03:15)

© Sputnik/ <http://goo.gl/82LK57>

ウクライナのペトロ・ポロシェンコ大統領はクリミアと境界線を接するウクライナ・ヘルソン州の軍の部隊の戦闘準備を強化するよう指示。ポロシェンコ大統領は 11 日ツイッターで次のように書いている。

「軍と外務省の指導部との会議を行った。クリミアとの境界線沿いおよびドンバスの全ライン沿いに駐屯する全ての軍部隊の戦闘準備を強化するよう指示した。」

昨日 10 日、ロシアの連邦安全保安庁はウクライナの破壊・テログループによるクリミア領内への突破の試みを 7 日、8 日に阻止したこと、地域で準備されていたテロが未然に防がれたことを報じた。特殊部隊の情報によると、これらの企てはウクライナの諜報部が参画し、準備されたものだった。

先に伝えられたところによると、ロシアのプーチン大統領がキエフにより準備されたクリミアにおけるテロの防止についてコメントし、安全保障のため追加措置が取られるだろうと述べた。

<http://sptnkne.ws/bTEE>

ロシアとトルコは「トルコ・ストリーム」費用を折半に

(スプートニク 2016 年 08 月 11 日 23:03)

© Sputnik/ Sergei Guneev <http://goo.gl/bX8ows>

トルコのエルドアン大統領はトルコテレビ局 Huberturk に「トルコ・ストリーム」のパイプライン施設費用を折半するようロシアと話をつけたと述べた。
エルドアン大統領は次のように述べている。

「我われは、『トルコ・ストリーム』計画にはいかなる問題もないと（ロシアに）伝えた。我われはトルコを通るパイプライン施設費用を折半しようと提案した。」

トルコは「トルコ・ストリーム」が同国領内を通過してから費用の 50%を支払うと、エルドアン大統領は述べた。

先に伝えられたところによると、ロシアとトルコは 2 つの石油パイプライン「トルコ・ストリーム」建設を話し合っているとロシアのアレクサンドル・ノヴァク・エネルギー相が声明した。

<http://sptnkne.ws/bTJy>

ウクライナを国連と OSCE から締め出すことが提案される

(スプートニク 2016 年 08 月 12 日 02:55)

© Flickr/ Steve Calcott <http://goo.gl/8kadXg>

クリミア自治共和国のルスラン・バリベク副首相はウクライナを国連および欧州安全保障協力機

構（OSCE）から除外する必要性を言明。理由としてバリベク副首相は両組織ともテロを奉ずる国を加盟させてはならないからと説明している。

「我々は全ての文明国に対し、ウクライナ政権を非難するにとどまらず、この国を国連およびOSCEから即刻除外するよう一丸となって声を上げるよう呼びかける。なぜならこれらの組織世界の安全を支持する使命をおうものであり、キエフ政権が行なうような民間人に対する暴力を許してはいないからだ。」

バリベク副首相はウクライナがクリミア領内でのテロを準備するため、工作員を潜入させた事実は全世界にウクライナ指導部の真の姿を見せ付けたとして、さらに次のように語っている。

「キエフ政権の使節らがクリミア市民にむかって、いかに『ウクライナがクリミア市民を愛し』、いかにウクライナの政治家らが市民に『配慮しているか』を語る姿を見てみたいものだ。あの者らは眠りながら我々の（クリミア）半島が打ち捨てられ、無人の姿になることを夢見ているのだ。これこそ、あの者たちの見果てぬ夢なのだ。」

8月7日にかけての夜、7人からなる工作員のグループがウクライナとの国境に近いクリミアのアルミャンスク近郊へ上陸、ロシア保安庁の特殊部隊がこれを発見。銃撃戦の末、特殊部隊員1人と工作員2人が死亡。残りの5人は生還した。ほとんどがクリミア市民で、そのうち数人かはロシアのパスポートを所持していたが、本物かどうかは確認を要する。

拘束された者はウクライナ国防省中央総局と協力し、そこで上陸訓練も受けたと供述している。また、彼らは自分たち以外にもクリミアへは同様の工作員グループが派遣されている事実を明かした。工作員らは人的被害を出さずにクリミア半島にパニックを広げ「観光業の抹殺」を目的とした一連の爆破を計画していたという。

<http://sptnkne.ws/bTWx>

ロバ、ダーイシュ最後の頼みの綱（動画）

（スプートニク 2016年08月12日 01:36）

◎ Sputnik/ Khaled Alkhateb <http://goo.gl/JtTZjS>

ハマー県のシリア砂漠にある村 Ithriyah から東と北でシリア軍とその同盟軍によるダーイシュ（イスラム国、IS）の封鎖が続いている。

ハマー県東部にいるダーイシュ戦闘員に武器を供給しようと封鎖突破を試みた数10の車は、先週シリア軍によって破壊された。サラミーヤ市から Ithriyah 村に続く道は軍により統制されており、武器と食料を持ったテロリストの車は自由に移動することができない。

動画 https://youtu.be/5M_grpu_PQc

ダーイシュ戦闘員は出口のない状態から、封鎖地点へと武器と食料を隠れて供給するために動物を使おうと試みている。

スプートニクは、テロリストが武器を過載して死んだロバの独占映像を公開した。動画の前半部では数十の地雷、爆薬や、武器製造のためのその他の機器の入った箱などが見られる。動画の後半では、体に爆弾を仕掛けられた可能性があるとの危惧から軍によって殺されたロバが没収された兵器のそばに横たわっているのが見られる。

<http://sptnkne.ws/bTWy>

ロシア軍、シリア領内の I S 拠点に空爆（動画）

（スプートニク 2016 年 08 月 12 日 06:06）

◦ Flickr/ Dmitry Terekhov <http://goo.gl/8A5MN9>

6 機のロシアの爆撃機 Tu-22M3 が 11 日、シリア領内で諜報により発見された「ダーイシュ（I S、イスラム国）」の拠点を空爆した。ロシア国防省が報じた。攻撃を対象となった I S の拠点はラッカ市から南東、北、北西の 3 方面。

動画 <https://goo.gl/UwwnCI>

先に伝えられたところによると、トルコの国境警備隊がシリアで負傷した米諜報員を助けた。

<http://sptnkne.ws/bTWz>

トルコはロシアとの対ダーイシュの共闘についての NATO の意見に無関心

（スプートニク 2016 年 08 月 12 日 07:01）

◦ AP Photo/ Burhan Ozbilici <http://goo.gl/NKE0du>

トルコのメヴリュト・チャヴシュオール外相は今日 11 日、トルコはシリアでの対ダーイシュ（イスラム国、I S）共同作戦の可能性をロシアと審議する準備があると声明した。チャヴシュオール外相は次のように述べた。

「ロシアとの関係危機にかかわらず、トルコはその時期でさえダーイシュと共闘するようとの呼びかけを続けていた。ダーイシュ戦闘員がどこにいるかは我われには明らかだ。我われは対ダーイシュ作戦に集中するよう社会に常に呼びかけてきた。唯一述べたいことは、NATO

加盟国ではない他国との我われの接触は、例外的なものではない。NATOは我われの他国との接触を制限することはまったくできない。これは、NATOは自らの条件を我われに押し付け、我われが誰と会うべきか、誰と付き合うべきでないかを言う権利がNATOにあることは意味しない。なぜならトルコは自らの外交政策を構築する上で独立した国だからだ。」

<http://sptnkne.ws/bTW9>

日本、守るにとどまらず攻撃の準備を開始したのか？

(スプートニク 2016年08月12日 08:09 タチヤナ・フロニ)

© AFP 2016/ Eugene Hoshiko <http://goo.gl/GhxXjN>

2015年初め、日本政府は420億ドルあまりという史上最大の防衛予算を採択。軍産複合体の発展、軍事機器の輸出などに課されていた一連の制限が撤廃され、米国との軍事コンタクトが強化された。

それだけではない。日本政府は海外での軍事行為を許可する法案を承認。つまり根本から安全保障政策を変えている。これについてロシア人軍事専門家のコンスタンチン・シフコフ氏はスプートニクからのインタビューに答え、日本は今日国を守るだけでなく、積極的な攻撃を行う準備ができているとして、次のように語っている。

「日本は今日最も近代的な装甲軍事機器を有している。陸上自衛隊も大規模な攻撃作戦を行えるだけの隊員数を十分有している。また航空自衛隊も強力で国防のみならず戦闘爆撃機も十分に有している。海上自衛隊など防衛に徹する事は党の昔に止めている。今日日本の海上自衛隊は日本の要求で刷新された米駆逐艦を有している。これは世界でも最強クラスの船だ。だがそれよりもすごいのは日本自身が完全なる空母を造船し始めたことだろう。これを日本はヘリ輸送船と呼んでいるが、排水量3万7千トンで垂直離陸着陸が可能なステルス機F-35を20~30機搭載することができる。こうした空母は日本の海域ではなく遠い海洋での攻撃上の課題のソリューションにはっきりと必要なものであることは間違いない。」

日本政府はことあるごとに、核兵器を持たず、作らず、持ち込ませずの非核三原則を強調してきた。だがこの原則は法的拘束力をもたず、政府の宣言に留まっているため、内閣によって廃止、ないしは見直しを受ける可能性は否めない。今年4月に日本政府は、憲法は最低限国防に必要なポテンシャルを有す事を許容していると明言。これは一国会議員の質問に対する内閣からの回答として公的文書に書かれ、流布された。日本政府は広範な原子力施設網とプルトニウムを抱えている。だが、軍事目的にも適切なプルトニウムも十分に所有しうると考えることはできるだろうか？ シフコフ氏はこれについて、次のように語っている。

「核燃料はウランないしプルトニウムの濃縮レベルを20%におさえねばならない。だが核爆弾の濃縮レベルは90~95%だ。原発にはこんな濃縮レベルは全く必要がないどころか、施設内で核爆弾のように爆発する恐れがあり、非常に危険だ。このため日本が90~95%の濃縮レベルの

ウランを有していたとすれば、これ核爆弾製造の準備を示す。こうした場合、そうした行為は憲法に甚だしく違反するものであるため、遮断する柵がとられるべきだ。日本は核拡散防止条約も調印している。そしてこれは極東、東南アジアにおいて深刻な核の脅威を生むだろう。これにより中国、北朝鮮、日本と核兵器の脅威のトライアングルが出来てしまうからだ。特に中国と日本のラインが危ない。この両国の紛争が激化した場合、あらゆる事が想定できる。」

オバマ米大統領はワシントンでの安倍首相との会談で日本の安全保障を「絶対的」なものと語り、それが及ぶ範囲を日中の係争水域である尖閣諸島にまで広げた。ところが米国はすでに再三にわたってこの地域での領土論争では幕裏にひっこんでいたいという姿勢を表している。しかも相手が中国ともなればなおさらだ。専門家のなかには、米国内にはユーラシア、そして太平洋での紛争をけしかけたいと狙う勢力があるにちがいないという見解が聞かれる。紛争の火をつけておいて、しかも米国はその先頭に立たない形にいるというパターンだ。歩兵の役割を果たさねばならないのはベトナム、フィリピン、インド、日本など、中国の国力伸張を快く思わない諸国が担わされる。米国の戦略からの構想ではそこで主役を演じるべきは日本だ。だが日本は自ら自国の安全をリスクにかけることなどできるのだろうか？

<http://sptnkne.ws/bTWA>

ニューヨークタイムズ：プーチン氏に関する危険なパラノイアが米国を席卷

(スプートニク 2016年08月12日 09:15)

◎ Sputnik/ Sergei Guneyev <http://goo.gl/g6Gwkm>

すべてのことにロシア政府の影をみる危険なパラノイアが米国を席卷した。ニューヨークタイムズが報じた。

西側諸国ではウラジーミル・プーチン大統領は英国のEU離脱や米大統領選に共和党からトランプ氏という候補がでたことまで、あらゆることの責任を負わされている。また、ロシアへの非難は深刻な社会的問題を生産的に話し合うこと、ロシアをよりよく理解し、ロシアに向けて効果的な政策を構築する邪魔をしている。

さらに、同紙の記事には、あらゆることでプーチン大統領を責めることは、非常に疑わしい選挙戦略だ。さて、最近の調査過程で、アメリカ人はロシアに対し特に驚異を見ていないことが明らかになった。彼らを圧倒的により心配させているのはテロと移民、失業だ。

先に伝えられたところによると、エルドアン大統領は米国に最後通牒突きつけた。

<http://sptnkne.ws/bTWv>

韓国野党議員ら、中国でTHAAD批判展開にしりこみ

(スプートニク 2016年08月12日 10:19)

◎ 写真: U.S. Missile Defense Agency <http://goo.gl/md1lgE>

韓国の野党「共に民主党」から初めて議会に選出された6人が8月8日、北京に到着。視察目的は中国の識者から朝鮮半島南部におけるTHAAD配備に反対の見解を聞くことにある。だがこの発案に韓国大統領府のみならず、「共に民主党」幹部内からも懐疑的な見解が表されると、視察は「非公式的、個人的性格」のものにさっさと変えられてしまった。

スプートニク朝鮮課が議員らに電話インタビューを申し入れたところ、議員のサポーターからは中国には「議員としてではなく、一民間人として」来たため、電話インタビューは意味がないという説明がなされた。

視察団で唯一の女性議員、ソン・ヘヴオン氏は北京へ飛ぶというまさに寸前に自身のFacebookに「議員グループのメッセージ、Kakao Talkで偶然、北京大学でセミナー広告を見つけたので、登録することにした」と書き込んだ。だが8月4日、ソン氏は公式的に声明を表し、「中国に関わるある議員からの提案で野党の6人の議員がTHAADについての中国の姿勢をよりよく知る目的で、休暇ではなく、自費で3日間の日程での北京視察を行なう」と語っていた。これについては事前に「中国問題に詳しい」議員であるキム・ヨンホ氏がスプートニクに明らかにしていた。

スプートニクに明らかにされたところによれば、北京大学、国際関係スクールの講義室で非公開の形で行なわれた会談では、韓国の議員らは中国人研究者らに対し、「THAAD問題は韓国と中国の友好関係を阻害するものであってはならない」ことを必死で分からせようとしていた。

中国側からは北京大学、国際関係スクールの講師ら4人が会談に参加した。だが途上で本来の熱意を失った韓国人議員のこうした説得に中国人講師らがどう反応したかは不明。

<http://sptnkne.ws/bTWE>

クリミアでのテロ画策でロシアがウクライナとの外交断絶の恐れ

(スプートニク 2016年08月12日 22:50)

◎ Sputnik/ Mikhail Markiv <http://goo.gl/K85QDI>

ロシアは8月7日にクリミアで発生した事態を受けて、ウクライナとの外交関係断絶を検討し始めた。ロシアのイズヴェスチヤ紙によれば、ロシアが検討している報復手段にはキエフに置かれているロシア大使館を閉鎖し、外交官全員の本国召還が挙げられている。

プーチン大統領は声明を表し、ロシアはクリミアでのこの事件に対し、必ずや報復を行なうこと

を明らかにしている。プーチン大統領は、ウクライナ政権は紛争の平和的解決を行なう代わりにテロに訴えようとしているとしてこれを非難。強硬な報復策のひとつとして外交関係の断絶が挙げられている。イズヴェスチヤ紙のロシア外交筋からの情報によれば、政府内では外交断絶の案がすでに審議に掛けられているものの、最終的な決定は収集されたデータをもとに大統領自身が下す。

8月7日にかけての夜、7人からなる作業者のグループがウクライナとの国境に近いクリミアのアルミャンスク近郊へ上陸、ロシア保安庁の特殊部隊がこれを発見。銃撃戦の末、特殊部隊員1人と作業者2人が死亡。残りの5人は生還した。ほとんどがクリミア市民で、そのうち数人かはロシアのパスポートを所持していたが、本物かどうかは確認を要する。

拘束された者はウクライナ国防省中央総局と協力し、そこで上陸訓練も受けたと供述している。また、彼らは自分たち以外にもクリミアへは同様の作業者グループが派遣されている事実を明かした。作業者らは人的被害を出さずにクリミア半島にパニックを広げ「観光業の抹殺」を目的とした一連の爆破を計画していたという。

<http://sptnkne.ws/bUbu>

トルコ、ロシアの要請でシリア国境を封鎖する可能性あり

(スプートニク 2016年08月12日 18:38)

© AFP 2016/ Ozan Kose <http://goo.gl/wUiW2A>

ロシアの外交官や軍当局者らはトルコ外務省との交渉で、トルコ・シリア国境の封鎖を要求した。イズヴェスチヤがロシア議員らと独自情報源の情報をもとに伝えた。

「私たちは、もちろん、テロリストや武器の流れを止めるために、シリア、トルコの国境の封鎖の問題を提起した」と下院国防委員会のヴィクトル・ヴォドラツキ副委員長。この問題はロシア自身の国家安全保障に直接関わるという。

「トルコの交渉担当者らは、外交官も軍人らも、ほぼ策動の余地がない。彼ら自身、どうやら、紛争を克服する意欲があるようだ。シリアとの国境封鎖という私達の条件も、彼らは実行することを余儀なくされるだろう」と上院国際委員イーゴリ・モロゾフ氏。

先に伝えられたところによると、トルコのメヴリュト・チャヴシュオール外相は今日11日、トルコはシリアでの対ダーイシュ（イスラム国、IS）共同作戦の可能性をロシアと審議する準備があると声明した。

<http://sptnkne.ws/bUc9>

WADA、スポーツ仲裁裁判所のサイトがハッカー攻撃

(スポーツニク 2016年08月12日 19:27)

© Fotolia/ Lukas Gojda <http://goo.gl/BTWGFr>

世界アンチドーピング機関（WADA）とスポーツ仲裁裁判所（CAS）のサイトがハッカー攻撃を受けた。AP通信が報じた。

WADAのメギー・デュラン広報担当調整役は「我々が調べたところサイトへの侵入は行なわれてなかったことがすぐさま断定できた。とはいえ状況の注視は続けて行く」と語っている。

CASのマチエ・リーブ事務総長も声明を表し、「CASのサイトに侵入が図られたが、こうした事態は今までもあったし、これからも同じだろう」と語った。

リーブ事務総長は「CASのサイト内容は公表されているものであり、機密情報ではない。現在、状況の確認作業が行なわれており、損傷濃霧を確認する調査を続けて行く」と補足した。ハッカー攻撃を受けた日時、容疑者らについては明らかにされていない。

先に伝えられたところによると、脳に移植された電子機器が近々に当たり前になる可能性がある、と科学者たちは語った。

<http://sptnkne.ws/bUen>

ロシア大統領府の新長官に日本語が堪能な専門家が起用

(スポーツニク 2016年08月12日 23:01)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <http://goo.gl/qPJpku>

プーチン大統領の大統領令によりセルゲイ・イヴァノフ大統領府長官が解任。後任に日本を専門とするアントン・ヴァイノ氏が起用された。ヴァイノ氏は最近まで大統領府副長官を務めており、1996年から2001年まで、在日ロシア大使館に勤務。日本語を自由に操ることで知られる人物。

大統領令では、元大統領府長官のイヴァノフ氏は大統領特別代表、自然保護活動、環境問題、交通運輸担当に任命されている。

先に伝えられたところによると、プーチン大統領、クリミアのテロ防止についてコメントした。

<http://sptnkne.ws/bUey>

イタリア人、ロシアをリオ・パラリンピックに復帰させることを求める請願を始める

(スプートニク 2016年08月12日 21:03)

© Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/1Cg2FB>

イタリアの Imola Oggi が Change.org 上でロシアをリオ・パラリンピックから排除するという国際パラリンピック委員会の決定を撤回するよう求める署名を開始した。

Imola Oggi は国際パラリンピック委員会の行動は恥ずべきものでありフィリップ・クレイヴン会長は不適格であると考え、パラリンピックにロシア選手を出場させるよう求める署名を開始する」という。

委員会の決定は明らかに政治的であり、完全に不適切であり、それを取ったフィリップ・クレイヴン委員長はプロフェッショナリズムの欠如を示したという。「多くの場合、西側自身に非常に有害であるロシアに対する西側の冷戦には多くの現れがあり、うちのいくつかは、本当に嫌らしいものである。何しろせめてスポーツは憎しみや国際政治における汚れや経済戦争から自由であるべきなのだ」という。

すでにロシアはスポーツ仲裁裁判所に訴え、その判決を待っている。

<http://sptnkne.ws/bUgt>

米国、スプラトリー諸島からミサイルを撤去するようベトナムに要請

(スプートニク 2016年08月12日 21:10)

© AP Photo/ Rolex Dela Pena, Pool <http://goo.gl/wA6iri>

米国政府が入手した情報では、ベトナムは東海のスプラトリー諸島にある複数の基地に軌道戦術ミサイルシステムを配備した。水曜の定例会見で米務省のエリザベス・トルドー報道官が述べた。ワシントンは東海の領土紛争の全当事者に「信頼強化に向けた実践的な行動」をとり問題の「平和的・外交的解決策を見つけるための努力を強化する」よう呼びかける、と報道官。

諸島へのミサイル兵器の配備の決定を再考するようハノイに訴える用意が米国にあるか、との問いに、報道官は、「我々は緊張を高める行動を避けるよう領土紛争のすべての当事者に呼びかける。したがって、答えはイエスだ」と答えた。諜報情報によると、ベトナムは東海に 150 キロの半径内にある目標を同時に攻撃できるイスラエル製ミサイル EXTRA を配備した。

<http://sptnkne.ws/bUhE>

統一코리아 誰もが目指すが誰も望まず

(スプートニク 2016年08月13日 00:44 リュドミラ・サーキャン)

© REUTERS/ Kim Hong-Ji <http://goo.gl/03JC7j>

中国は、国連安全保障理事会で拒否権を行使し、韓国の期待に反して、北朝鮮の最近の弾道ミサイル発射を非難する声明採択に向けた日米韓の試みを失敗させた。専門家の大部分は、中国は、韓国領内への弾道弾迎撃ミサイルTHAAD（終末高高度防衛ミサイル）システム配備への反発として、こうした反応を見せたと捉えている。

今年3月中国は、北朝鮮の核問題に関連し、これまで課されたものの中でも最大規模の制裁措置の採択を支持したばかりだった。当時こうした中国政府の立場は、韓国内において、北への圧力強化のしるしとして受け止められた。韓国政府自体、北が核軍縮に忠実な立場を示さないうちは、北朝鮮との間でいかなる交渉も行わないとし、事実上、北に対する封鎖政策に着手した。韓国は、国際的な制裁により悪化した経済危機や、中国の厳しい態度によって、金正恩政権が自らの核プログラムを捨て、もっと予見可能な国となるか、接近を図るものと期待して、そうした措置をとった。その意味では、北朝鮮の核軍縮は、主な目的、つまり半島全体の統一に向けた唯一の措置である。

この事を、韓国の朴槿恵大統領は幾度となく述べ、そのためのモデル、手本として、東西ドイツの統一を挙げてきた。こうしたことは、国の再統一に向けた初めての試みでは決してない。2000年には、宣言書の調印にまで行った。その中で南北朝鮮は、何らかの妥協点を見つけ出すよう試み、和合を目指すことで合意を見た。しかし「太陽政策」と呼ばれた接近策は、2006年10月に北朝鮮が最初の核実験を実施したことで崩壊してしまった。

最新の分析によれば、南北朝鮮の経済格差は、現在、20倍から40倍とのことだ。北が南のレベルに達するには、少なくとも20年と1兆ドルが必要だと言われている。その際コストは、韓国の国家予算からばかりでなく、国民も支払うことになる。韓国のAsan Institute for Policy Studiesが実施したアンケート調査によれば「統一코리아」を数の上で、韓国の圧倒的多数の人々が支持しているものの、特別な「統一税」導入については、韓国の若者達の間で意見が分かれ、支払う用意があると答えたのは約35%に過ぎなかった。なお同様の調査では、50歳以上の韓国民のほぼ64%は、支払うつもりだと答えている。また統一の時期に関する質問に対し、大部分の人達は、アンケートの中の「状況次第」という項目を選択した。つまり韓国市民は、統一は望みながらも、それは今後先のいつかとして考えている。

一方、韓国当局は、統一は必要不可欠であり国民はそれを望んでいるとして、世界各国を説得しようと大きな努力を傾けている。そうした目的をもって、韓国の大統領や外務大臣は今年、北朝鮮と少なくとも最低限の温かな関係を維持しているロシアを含め、一連の国々を訪れ、南北朝鮮統一は、はるか遠くのことではなく、その意味で北朝鮮の体制を支えるのを止めることが最善の戦略だとして説得を試みた。

もちろん、半島を統一するためには、地域のカギを握る国々の立場を考慮する必要がある。ロシ

アと中国は、朝鮮が再統一された場合、米軍が自分達の国境に近づいてしまうことを懸念している。一方米国は、この地域における自分達の立場が失われ、中国に近い立場をとる新しい国が誕生するのではないかと恐れている。また日本は、反日的な機運が高まり、ハイテク市場での統一コリアとの競争が強まるのではないかと心配している。つまるところ、すべての国々が、大なり小なり、難民の大量流入や地域の不安定化に不安を持ち、統一コリア政府のコントロール下に核兵器が置かれることに断固反対している。

一方、当然ながら、北朝鮮にも自分達の見方がある。北の指導部は、統一を妨げているのは「帝国主義勢力とその傀儡」だと考えている。つまり、米国駐留軍とワシントンによって支えられたソウル政府が、主に妨害しているということだ。北の考えによれば、南北再統一は、彼らを追い出して初めて、チュチェ思想に則って北朝鮮指導部のもとでのみ可能なのである。スポーツニク日本記者のインタビューに対し、ロシア極東研究所コリア調査センターのエキスパート、コンスタンチン・アスモロフ氏は、次のように述べている―

「南北朝鮮対話の中では、絶えず一方の側が、他方を非難している。一方が、統一を目指し提案などを持ち出すと、他方はいつも、それを無視してはねつける。そうしたなかでは、提案の一部でさえ、現時点では遂行できない。不信という『氷』を解かすことは大変難しい。何十年もの間に蓄積されてきたものを、数年で払拭することは不可能だ。しかし、それが大変困難に満ちたものであったとしても、理論的には統一は可能である。いかなる場合であっても、互いを威嚇しあうよりは、対話の方がより良い。もちろん、外からの影響もあるが、それを過大評価すべきではない。内部的なファクターが演じる役割は小さくなく、大きい。核兵器の存在が、統一をある期間遅らせていることなど、北朝鮮を統治する金正恩氏を心配させてはいない。統一国家の枠内では、彼の政治的未来はないからだ。」

<http://sptnkne.ws/bUjz>

長崎市長「プーチン大統領訪問、実現すれば歓迎」

(スポーツニク 2016年08月12日 23:38 徳山あすか)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <http://goo.gl/WYXkLu>

8月9日、長崎原爆の日に発表された今年の長崎平和宣言は、ロシアでも注目を集めた。平和宣言が「日本政府は、核兵器廃絶を訴えながらも、一方では核抑止力に依存する立場をとっている」という矛盾を指摘したことは、ロシアの日本研究者らから勇敢で大胆であると評価されている。

ロシアの立場から日本を見てみると、日本は唯一の被爆国として核兵器廃絶を訴えるリーダー的な国という地位を占めようとしている一方、米国の核の傘の下で守られることを拒否していない、矛盾を孕んだ国である。その上、核兵器の非保有国であるにもかかわらずプルトニウムを大量に有しているので、「いざとなれば核武装できてしまうのではないか」という懸念がある。しかし、長崎市の田上富久（たうえ・とみひさ）市長は、日本の反核の世論は非常に高いと述べている。

田上市長：「長崎の街は71年前の経験をもとに、被爆者が体験した悲惨な思いを二度と、世界中の誰にもさせない、という思いと、長崎を最後の被爆地にしようという強い決意で、広島市とともに核兵器廃絶を訴えてきました。世界中にたくさんの平和市長会議の仲間もいます。日本国内には全部で1,800ほどの自治体がありますが、そのうち約9割の自治体が非核宣言を行っていて、国内の反核の世論は非常に高いと思っています。これをより恒久的なものにしていくために、長崎平和宣言を通し、これまでも非核三原則の法制化や北東アジア非核兵器地帯構想について求め、提案し続けてきました。」

北東アジア非核兵器地帯構想とは、日本・韓国・北朝鮮の3カ国を非核兵器地帯にしようとする試みだ。この地帯が非核兵器地帯として完成するためには、3カ国に核兵器が存在せず、近隣の核保有国（米国・ロシア・中国）が、これらの国々を核兵器で攻撃しないことが条件になる。北朝鮮は核実験を強行に繰り返しており、朝鮮半島の非核化は困難な状況だ。

ロシア科学アカデミー極東研究所・日本研究センターのワレリー・キスタノフ所長はスプートニクのインタビューで、プーチン大統領が年内に訪日するにあたり、日露関係を討議するだけでなく、長崎あるいは広島を訪問して何らかの声明を出すことが、世界が核兵器を放棄する助けとなるだろうという見解を示している。これに対し田上市長は「もしプーチン大統領の長崎訪問が実現すれば、もちろん歓迎したい」と述べている。

田上市長：「長崎平和宣言でも申し上げたように、被爆の実相を知るということは核兵器のない未来を考えるスタートラインだと思っています。特に核兵器保有国のリーダーの皆さんに被爆地を訪問して頂き、原子雲の下で人間に何が起きたのかを知ってもらいたいのです。核政策や核軍縮を議論するためには、被爆の実相を正しく理解して頂くことが重要で、そのためにも訪問は大きい役割を果たしてくれると考えています。特に長崎は歴史的にもロシアとの様々なつながりがありますから、プーチン大統領の長崎訪問が実現するならば、長崎市として歓迎申し上げたいと思います。」

長崎は幕末、レザノフやプチャーチンが来航しロシアとの窓口となった。かつて長崎にあったロシア領事館は、原爆投下で破壊されてしまった。

<http://sptnkne.ws/bUnf>

イラク、ダーイシュ（IS）の主任石油商人が殺される

（スプートニク 2016年08月13日 00:08）

◎ AP Photo/ <http://goo.gl/SAQkpH>

クルド人民兵がダーイシュ（IS）のすべての石油取引を統轄していた人物をシリア・イラク国境で殺害した。ロイターによれば、ハジ・ハマドの名で知られるサミ・ジャシム・アル・ジャッブリはダーイシュのすべての石油などの天然資源採掘を担当していたが、イラクのクルド人と米国特殊部隊による共同作戦で殺された。幹部の殲滅については米国防総省エイドリアン・ランキン＝ギ

ヤロウェイ公式代表も確認した。特別作戦は11日シリア・イラク国境で実施されたが、結果の確認に時間がかかった。アル・ジャッブルのほかに、その補佐役も排除されたという。

先に伝えられたところによると、イラク治安部隊はディヤラ州北部でテロ組織ダーイシュ（IS）リーダーの補佐役アブ・バクル・アル・バグダディーを殺害した。

<http://sptnkne.ws/bUpe>

メドヴェージェフ首相、ウクライナとの外交関係断絶を排除せず

(スプートニク 2016年08月13日 00:48)

© Sputnik/ Dmitry Astakhov <http://goo.gl/Y91iTp>

ロシアのメドヴェージェフ首相はウクライナとの関係断絶を排除していない。インターファクス通信によると、首相は、ロシアとグルジアの紛争の際にロシアとグルジアに直接の外交関係はなかった、と指摘。ウクライナとの関係でこのようなシナリオの繰り返しを望んではいないとしながら、この問題に関する最終決定はロシア大統領が取る、と首相。首相はまた、クリミアでのテロの試みに関与したものは刑事責任を問われるべきであることを指摘。未遂には終わったものの事件は破壊活動であったとの見方を示した。

8月7日にかけての夜、7人からなる工作員のグループがウクライナとの国境に近いクリミアのアルミャンスク近郊へ上陸、ロシア保安庁の特殊部隊がこれを発見。銃撃戦の末、特殊部隊員1人と工作員2人が死亡。残りの5人は生還した。ほとんどがクリミア市民で、そのうち数人かはロシアのパスポートを所持していたが、本物かどうかは確認を要する。

拘束された者はウクライナ国防省中央総局と協力し、そこで上陸訓練も受けたと供述している。また、彼らは自分たち以外にもクリミアへは同様の工作員グループが派遣されている事実を明かした。工作員らは人的被害を出さずにクリミア半島にパニックを広げ「観光業の抹殺」を目的とした一連の爆破を計画していたという。

<http://sptnkne.ws/bUwK>

日本の原爆投下の実被害は過大視されている、仏学者が発表

(スプートニク 2016年08月13日 10:30)

© Sputnik/ Ovchinnikov <http://goo.gl/7dlEyk>

仏の分子生物学者バートラン・ジョルダン氏は米国が広島、長崎に投下した原子爆弾による長期的後遺症は極度に誇張されたものとする結論を出した。調査結果は「ジェネティクス」誌に掲載。

被爆者のガン罹患率は被爆していない人のそれに比較すると高いものの、著しい差はない。調査の結果、被爆者のガン罹患率は年齢、性別、また爆心地からの距離によって異なることがわかった。1958年から1998年の間では被爆者のガン罹患率は、放射能被害を受けていない一般の例に比べると10%高い。生き残った大多数の被爆者の吸収線量値は1グレイ以下の小さい。被爆者から生まれた子どもには遺伝的な病気は見られなかった。被爆者の平均寿命は一般より数ヵ月短い程度。

ジョルダン氏は60年にわたって広島、長崎の原爆投下の影響を調べ続け、その結果をまとめた。ジョルダン氏は原子力エネルギーおよび原爆による被爆の誇張されたリスクに注目せず、石炭、化学産業による環境問題にこそ目を向けるべきと呼びかけている。同氏はこうした産業によるガン罹患率のほうがはるかに高いと指摘している。

<http://sptnkne.ws/bUzY>

IOC、ロシア人選手的心情を傷つけた米選手らに批判

(スプートニク 2016年08月13日 12:42)

© AFP 2016/ Odd Andersen <http://goo.gl/BjnJJl>

国際オリンピック委員会（IOC）はリオ五輪参加選手らに互いを尊重するよう要請。IOCのアダムス会長は、競技を終えた選手らが互いの健闘を讃えあわないなど容認できない行為と批判。

「無念。私は例外にはならなかった。リオ五輪には出場させてもらえなかった。奇跡は起きなかった。」棒高跳びで二度の五輪優勝、三度の世界選手権優勝を果たした最強選手、エレナ・イシンバエヴァさんはインスタグラムにこう記した。

「スポーツ選手が互いの健闘を讃えあわないなど言語道断だ。これではライバルを尊重していないことになる。」リアーノーヴォスチ通信がアダムス会長の声明を引用して報じた。IOCのこうした反応は水泳で金、銅メダルを受賞した米国選手らが銀メダル獲得のロシアのユリヤ・エフィーモワ選手に否定的な態度をとったことに起因して出された。

火曜日9日未明に行われた女子100メートル平泳ぎの後、金メダルを獲ったりリー・キングと銅メダルのケイティ・マイリの両米国選手は表彰式でエフィーモワ選手を祝福しなかった。

2014年エフィーモワ選手はドーピング検査でアナボリックステロイドの陽性反応が出たため16ヵ月の出場停止処分を受けた。今年3月には禁止薬物メルドニウムの陽性反応が検出されて暫定的に資格停止処分となったが、体内の薬物濃度が許容値を超えなかったため疑いが晴れた。

<http://sptnkne.ws/bU2c>

ロシア、第6世代戦闘機2タイプを開発中

(スプートニク 2016年08月13日 13:51)

© Sputnik/ Alexey Filippov <http://goo.gl/OMGY50>

第6世代戦闘機の無人版と有人版が同時開発されている。ロシア航空宇宙軍のボンダレフ司令官が金曜記者らに述べた。「ロシアでも外国でもこの方向で開発が進んでいる。ロシアには素晴らしい設計局、航空産業がある。第6世代はそう遠くないと思う」。

先にロゴジン副首相はスホイ設計局が第6世代戦闘機の第一段階を披露したと伝えた。2014年統一航空企業は、最初の第6世代戦闘機は2020年代後半に誕生する、とした。

ロシアでは今第5世代戦闘機 PAK FA または T-50 の実験が行なわれている。最初に上空に上がったのは2010年のこと。国家試験は今年終了し、2017年には量産が始まる。

<http://sptnkne.ws/bUyP>

米国、新型原子爆弾をドイツに配備する意向

(スプートニク 2016年08月13日 16:34)

© Flickr/ Dave Bezaire & Susi Havens-Bezaire <http://goo.gl/rNDmM8>

現代版米国原爆 B61-12 が2020年以来、ラインラント・プファルツ州のビューヘル連邦空軍基地に配備される予定。金曜、シュピーゲル紙が報じた。

米国は2020年に原爆 B61-12 の量産を開始する予定。独ビューヘル(ラインラント・プファルツ州)の基地などに配備される計画。今、ビューヘルにはドイツのトルネード機に装備可能な10~20の核弾頭があると推計されている。2010年、連邦議会は、ドイツからの核兵器の撤去についてワシントンと交渉することを是とした。しかし、ドイツ政府は、NATOの同盟国との調整なしに一方的な措置をとることはしないと発表した。

<http://sptnkne.ws/bU2q>

北朝鮮外相、米国訪問か

(スプートニク 2016年08月14日 00:26)

© AFP 2016/ Richard Juilliart <http://goo.gl/mgp40j>

北朝鮮のリ・ヨンホ外相が国連会合に参加するため9月米国を訪問する可能性がある。様々な情

報源をもとに「ヴォイス・オブ・アメリカ」韓国語版が伝えた。正確なスケジュールや個別の会談については明かされていないという。

北朝鮮は8月に再度の弾道ミサイル実験を実施し、うちの一発が日本の排他的経済水域に飛び、東京の警戒心と非難を引き起こした。韓国軍の推計によると、北朝鮮は国連安全保障理事会が北朝鮮の弾道ミサイル発射と核兵器実験を禁止したにもかかわらず、2011年の金正恩氏政権就任とともに30以上のミサイル発射を行った。

<http://sptnkne.ws/bUF2>

「恐ろしくかつ迅速に」ーアジアにおける核戦争のことではなく、トランプ氏の選挙運動について (スプートニク 2016年08月14日 02:17 エフゲーニヤ・モイセーエワ)

© AP Photo/ Chris Carlson <http://goo.gl/ekCff8>

米共和党の大統領候補、エキセントリックな物言いでも知られる大富豪のドナルド・トランプ氏は、大統領選挙キャンペーンの間に、その発言で世界中を驚かせてきた。日本も例外ではない。トランプ氏は「日本経済というカバを養う」のをやめるため、米国はTPPから脱退するとして日本を脅迫した。また彼は「あまりに高くつく」米軍基地を閉鎖すると約束し、日本と韓国に対して、北朝鮮の脅威から自分達を守るため核兵器を持つよう提案した。トランプ氏は「日本と韓国は、北朝鮮から自らを守ることができるようにする必要がある。彼らは、すぐに北を懲らしめるだろう。もし戦いが始まれば、それは恐ろしいものとなる。ただただ恐ろしいものだ。しかし、もしそうであるのなら、そうなるのだ」と述べている。

こうした類の発言は、日本政府をさえ警戒させた。毎日新聞は、7月のある号の中で、次のように報じている—「日本では、トランプ氏が政権の座に就く可能性に向け準備が始まった。専門家が集められ、彼の発言のすべてが分析された。その結果、おそらくトランプ氏がホワイトハウスに入ったら、彼は主に、米国内の問題にかかりきりなるだろうとの結論に達した」。

スプートニク日本記者は、ロシア極東研究所日本調査センターのエキスパート、ヴィクトル・パヴリャテンコ氏にインタビューし、意見を聞いた。氏は「これはコップの中の嵐だ」と表現し、次のように続けた—

「トランプ氏の人を驚かす発言の数々が、彼が政権の座に就いた時に、実現されるものではないことは、全く明らかだ。もしトランプ氏が勝利しても、ホワイトハウス前庭での最初の演説の中では、もう全く別のことを言うだろう。11月まで2ヵ月、まだいろいろな動きがある。しかしトランプ氏が勝利すれば、彼は全く別のトランプになると確信している。そもそも米国の政策を決定するのは、大統領ではない。大統領は一定の個人的貢献はするが、それは、国際舞台における国際戦略を決定づけるものではない。」

トランプ氏の選挙キャンペーンで物言いが、いかに挑戦的なものであっても、その背後には、自分達の一定の目的を持つ一定の人達が控えている。いくつかの西側のマスコミも書いているように、このことを、プーチン大統領ではなく、米国の独占資本家や軍人達がよく理解している。

パヴリャテンコ氏は、さらに次のように述べた—

「中国やロシアの目と鼻の先にある軍事基地をなくすとトランプ氏が言ったのは、日本の安全保障が大変高くつくからで、それは単に無理だからだった。いつの日か、万一そうした決定が下されても、米軍が出てゆくのは10年か15年後だろう。自分達がリードする立場を維持することに向けた新しい戦略が、米国内で考えつかれないうちは、彼らは、現状維持を目指すだろう。」

最後に一つ指摘しておきたいことは、7月16・17両日に実施された産経新聞とFNNの世論調査の結果だ。それによれば、調査に参加した人のうち、トランプ氏が次期米国大統領として、日本に肯定的影響をもたらすと考えている日本人は4.1%に過ぎなかった。

日本政府について言えば、彼らはトランプ氏について、あまり真剣には受け止める気分になく、彼の「失策」を指摘するチャンス逃してはいない。例えば、佐々江賢一郎駐米大使は、トランプ帝が米国とメキシコの間「長城（偉大なる壁）」をどう築くのかを説明する専門家による聴聞会を今か今かと待っていると、ジョークを交えて述べた。

いずれにしても、トランプ氏は、ああした独特の物言いによって、望むものを手に入れた。現時点で専門家らは、大統領選挙で彼が勝利する確率は47%と見ている。でもつい最近まで、誰も、彼をまじめに受け止めてはいなかったのだ。彼のやり方を何と評したらいいだろう？ それは、ひどいものだが、確かに大統領候補になるためには早道だった。

<http://sptnkne.ws/bU5v>

トルコ クーデター後 ほぼ8万1,500人が職を失う

(スプートニク 2016年08月14日 04:12)

◎ REUTERS/ Alkis Konstantinidis <http://goo.gl/8QMuU4>

トルコでのクーデター未遂事件後、ポストを追われたり解雇された人の数は、81,494人となった。ロイター通信が、ユルドゥルム首相の発言を引用して伝えた。

先に伝えられたところでは、更迭された人が6万人、解雇された人が3,500人とのことだった。ユルドゥルム首相によれば、その中には、判事や軍人、役人が含まれている。

7月15日から16日にかけての深夜、反乱者達は、軍事クーデターを試みたが、当局により阻止

された。最新のデータによれば、クーデターの結果、その中心となったし大都市イスタンブールや首都アンカラでは、246人の市民が死亡、2千人以上が負傷した。なおこの数字には、クーデター派の死傷者は含まれていない。

<http://sptnkne.ws/bUF5>

パラリンピックからのロシア排除について、インディペンデント：これが平等というわけだ

(スプートニク 2016年08月13日 21:56)

◎ Sputnik/ Kirill Kallinikov <http://goo.gl/yeXqay>

リオ五輪からのロシアのパラリンピック選手の排除は憤ろしく、不公平であり、障害を持つ人々への国際スポーツ組織の態度を示している。インディペンデント評論員マリー・デジェフスキ氏が報じた。

大会への参加の禁止という措置は、選手らが不完全なスポーツシステムに関与しているという事実のためだけにとられた。「先に世界アンチドーピング機構(WADA)はロシアには国家的なドーピングプログラムがあるとしてロシアを非難した。しかし、選手の罪を証明する客観的証拠は示されていないという。

「これが平等というわけだ。自然的正義の原則一罰は罪に相応するべきである—が損なわれただけでなく、より長期的な効果もある。障害のある人の権利と機会について、世界スポーツはロシアにどのようなメッセージを送ったのか」と著者。

<http://sptnkne.ws/bU73>

WTO、初めてロシアに不利な判決

(スプートニク 2016年08月13日 22:55)

◎ AP Photo/ <http://goo.gl/lvG7i8>

世界貿易機関(WTO)の仲裁パネルは、ロシアの紙、厚紙、パーム油とそのコンポーネント、冷蔵庫の輸入関税がルールに反していることを認定した。WTOのウェブサイトに金曜声明が発表された。

これらの輸入関税は、2012年にWTOに加入する際、ロシアが負った所定の関税削減水準を満たしておらず、ゆえにWTOのルール違反であるとされた。

WTOの決定後に出された欧州委員会の声明では、ロシアはまだ組織加入時の約束を全て果たし

ていないと述べられた。公約した水準を超える関税を設定しないというのは「WTOの最も基本的なルールの一つ」であるという。先に伝えられたところによると、米大統領選の共和党候補トランプ氏が、米国製造業の保護策導入に積極的に賛成し、保護を邪魔する場合、世界貿易機関（WTO）から抜けると約束した。

<http://sptnkne.ws/bU9p>

メディア：米国は対テロに1兆ドル費やしたがより安全にはなっていない

(スプートニク 2016年08月14日 04:39)

◎ AP Photo/ Lee Jin-man <http://goo.gl/5XCsNr>

雑誌「アトランティック」が「アメリカは少しでも安全になったか」という記事を掲載した。9.11日のテロから15年、米国の安全性は高くない、と著者。メディアによると、当局は国防強化に1兆ドルを費やしてきたが、お金の多くは無駄になった。

細菌攻撃からの防護は36都市で実際の条件でテストされなかった。誰も十分安全にそれを行う方法を知らない。それでもシステムの維持には10億ドル以上がかかっている。10億ドルしたサイバーセキュリティプログラム「アインシュタイン」も失敗した。システムは米国の主要な人事セクションへのハッキングを防ぐことができなかった。

しかし、良い面もある、と著者。ボストン当局は訓練を積み、医師を的確に配備し病院に人を輸送するルートを計画したため、2013年のマラソンにおけるテロの後、即死した3人に加えて重体者264人のいずれも死亡することはなかった。

<http://sptnkne.ws/bUFb>

ロシアの大型無人機の飛行実験始まる

(スプートニク 2016年08月14日 12:31)

◎ 写真: militaryrussia.ru <http://goo.gl/zzPhgw>

ロシアの大型無人機「アルタイル」の飛行テストが開始された。国防産業コンプレクス筋の情報としてインターファクス通信が伝えた。コンプレクスの関係者は、記者に次のように述べた—

「無人機『アルタイル』の飛行実験は、7月中旬、タタールスタン共和国のカザンで行われた。今後、非常に多くの実験プログラムが予定されている。無人機の離陸重量は、およそ5トンで、長時間飛行用無人偵察機の中型クラスに属する。翼幅は約28.5mで、全長は11.6mだ。」

ロシアにおける無人機製作分野の専門家、デニス・フェドゥチノフ氏は、今回の試験飛行開始についてコメントし「ロシアの『アルタイル』は、米国の軍事用ドローン Reaper タイプのものになるはずだ」と指摘した。先に伝えられたところによると、ロシアは第6世代戦闘機の2タイプを開発している。

<http://sptnkne.ws/bUW8>

中国との領土紛争に日本のミサイルが参加？

(スプートニク 2016年08月14日 15:59)

◎ AP Photo/ Emily Wang <http://goo.gl/Ypf2eK>

日本政府は係争を抱える尖閣諸島（中国名釣魚）を含む東シナ海の遠隔地の防護を強化するために、沖縄県の先島諸島に携帯式ミサイルランチャーを展開することを計画している。日曜、読売新聞が伝えたところによると、地对地クラスの新しいミサイルの予想される射程は離島を防護するのに十分である約300キロ。

本プロジェクトの実施のための推定費用は2017会計年度（2017年4月1日に開始）の予算に含まれる見通しで、携帯式ミサイルシステムの配備は2023年までに完了される。前に、日本の外務省は中国に対し、係争を抱える尖閣諸島（魚釣島）付近の貨物船とスクーター船の衝突後、6人の中国人船員を救出したことについて、通知した。

<http://sptnkne.ws/bUN6>

北朝鮮、「ほんのわずかな挑発でもあれば」核攻撃を行うと米国を脅迫

(スプートニク 2016年08月14日 17:20)

◎ REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/j69crw>

北朝鮮は土曜、その侵略しようとする試みについて米国を非難し、「ほんのわずかな挑発でもあれば」核攻撃を行うと米国を脅迫した。朝鮮中央通信より。「米国の北朝鮮侵略の試みはかつてなく無思慮になってきている」という。「北朝鮮軍の革命軍は敵の浅はかな軍事的ヒステリーに対処するため現在の軍事的対抗から先制攻撃へと態勢を移行させた。即応部隊は敵側にほんのわずかな挑発でもあれば無慈悲で破壊的な打撃を与える完全な準備がある」という。火曜報じられたところでは、米国は核兵器を運ぶことができる戦略爆撃機をグアム基地に配備した。

<http://sptnkne.ws/bUWb>

シリアのダーイシュ施設空爆の様子映した動画ネットに公開

(スプートニク 2016年08月14日 18:46)

- ◎ 写真: Ministry of defence of the Russian Federation <http://goo.gl/e1A701>

ロシアの国防省はツイッターの公式アカウントで、爆撃機 TU-22M3 がシリアにあるダーイシュ（イスラム国、IS）施設を爆撃する様子を映した動画を公開した。

爆撃は高性能爆弾によって、シリア北東部の町デリゾールで行われた。作戦の結果、戦闘員の指令拠点2つと武器庫6つが破壊された。

任務遂行後ロシアの TU-22M3 と同爆撃機をカバーしていた SU-30CM と SU-35S はバーシール・アル＝アサド空軍基地へと帰還した。

twitter.com/ <https://goo.gl/35VYgg>

先に伝えられたところによると、クルド人民兵がダーイシュ（IS）のすべての石油取引を統轄していた人物をシリア・イラク国境で殺害した。

<http://sptnkne.ws/bUKR>

日本は人口統計学的危機に瀕しているのか？

(スプートニク 年08月14日 19:33)

- ◎ AFP 2016/ Yoshikazu TSUNO <http://goo.gl/qGhk1V>

高齢化と少子化が現代日本の主要な問題となっている。独立行政法人経済産業研究所 (<http://www.rieti.go.jp>) の調べによると、現在1億2,800万人の人口は2046年には1億人に減少し、2105年には4,500万に落ち込む恐れがある。難民や移民がこの恐ろしいシナリオを防ぐ役に立つか？日本における移民に対する関係性と人口減少の現実性について、スプートニクは、高等経済学院人口統計研究所の副所長で人口統計学部長のミハイル・デニセンコ氏に話を聞いた。

「2105年のことについて語ることは控えたい。それは非常に遠い先のことだ。より近いところを見るなら、2050年までに日本の人口は1億500万から1億1,000万まで落ち込むとは言えるだろう。これはより蓋然性の高い予測だ。なぜなら2050年に生きているであろう人々のほとんどは既に生まれているから。人口の高齢化が続いているということも不可避の事実だ。」

質問：移民を誘致することにより人口統計学の問題を解決することはできるか？

「日本は平均で約83年を生きる平均寿命が最も高く、同時に、出生率が最低である国の一つ。」

移民が人口減少と高齢化の問題を解決することはできない、なぜなら彼らもまた高齢化していくからだ、という意見がある。しかし、移民が、出生率の面でより好適な時期まで問題を先延ばしする可能性はある。20世紀末以来、日本その他の国は、移民政策に異なるアプローチを取るようになった。日本はこの点で、より開かれた国となっている。」

日本の法務省のサイトで公表されたデータによると、2015年、日本に居住する（90日以上日本に滞在している）外国人の数は、223万2,000人に達した。これは引揚者、外国人労働者、外国人学生だ。「日本では21世紀の初めには高齢者のケアを担う看護師のためフィリピンの労働力を誘致するプログラムが策定されており、結果、このカテゴリーは、日本への長期居住の権利を受けるようになった。労働力不足は経済の様々な部門で感じられている。2012年には有資格者選抜のポイント制が導入された」と日本の移民政策の傾向について、ミハイル・デニセンコ氏。

建設部門とサービス業では、中国、ベトナム、ラオス、ネパール、インドネシア、トルコ他、多くの国の外国人労働者が働いている。彼らは日本の労働力不足の問題を解消すると同時に、比較的安定した収入で家族を養っている。シリアとトルコからの多くの移民が難民認定を申請している。2015年には、日本の難民認定申請数は7,000を超えたが、認定は27にとどまった。日本における難民問題の受容について、ミハイル・デニセンコ氏は次のように述べる。

「難民問題においては日本は長期にわたる閉鎖性の伝統で他の国と異なっている。文化的にも心理的にもこの閉鎖性から日本が脱却することは困難だ。しかも、到着する難民たちはたしかに日本人と異なっている。ヨーロッパは既にシリアからの難民に精通している。シリアとトルコに関しては、一部の地域ではほぼ同一の人たちが住んでいる。日本にはより多くの困難な課題がある。外の世界からの孤立という歴史的な感覚を克服する必要があるのだ。」

日本は、今後、経済のいくつかの部門はますます外国人労働者に依存することになる、ということを理解している。日本の外務省は毎年30万人の留学生や研修生を日本の大学で勉強させる誘致プログラムを行っている。日本は年ごとにより広くより広く外国人に門戸を開いているように見える。しかし、多くの日本人は、元の伝統を維持しようとし、今日すでに自分の国に多数の移民が住みつくことに反対の声を挙げている。

<http://sptnkne.ws/bUNr>

イランには新たな原発が10機必要

(スプートニク 2016年08月14日 19:59)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://goo.gl/zFP8Y0>

イラン国会・国家安全保障・外交政策委員会の Seyed Hossein Hosseini Nakavi 委員長によると、イラン国会はイランは2万メガワットの電力供給が不可欠であり、それには10機の原発建設が求められると声明したという。リアノーヴォスチが報じた。イラン原子力庁(AEOI)は発電所建設

計画を準備した。同時に 10 の発電所を建設するのは不可能なため、今日、2 つの発電所建設が予定されている。

発電所建設はロシアと共同で行われる。ロシアとイランは 14 年 11 月モスクワで原子力の平和利用の分野での協力についての一連の書類に調印した。調印後、ロシアの技術によるイランでの 8 つの原子力発電ユニット建設が可能になった。先に伝えられたところによると、フランスのカダラッシュで建設中の国際熱核融合実験炉（ITER）建設の国際プロジェクトにイランが参加する可能性がある。

<http://sptnkne.ws/bUWF>

ナショナルインタレスト、ロシアの戦闘機を「空の王」と呼ぶ

（スプートニク 2016 年 08 月 14 日 21:01）

© East News/ Xinhua News/Shen Jinke <http://goo.gl/dNPTnA>

ナショナルインタレスト誌はロシアの Su-35 と米国の F-15 の性能を比較した記事を掲載。航空機の戦闘能力を評価し、米国には不利となる結論を下した、とスプートニクが伝えている。双方とも第 4 世代戦闘機として設計された軍用機。しかし、ロシアのモデルには一連の利点がある。

「スホイ」には 50 キロの半径内で敵機を追跡する赤外線検索システムがある。F-15 にはそれがない。F-15 とは異なり、Su-35 はすでに、検出が難しいステルス技術を備えている。Su-35 は 12 以上のミサイルを積める、しかし F-15 にはわずか 8 つの装着具しかない。また、「スホイ」は、長距離ミサイル（300～400 キロ）P-37M を装備している。

また、Su-35 は 7 トン以上の弾薬を積める、うち 6 トンが地上目標を爆撃できるのであるが、F-15 は純粋な戦闘機だ。先に伝えられたところによると、ロシアは第 6 世代戦闘機の 2 タイプを開発している。

<http://sptnkne.ws/bUWG>

露国防大臣、シリアになぜロシア基地が必要かを説明

（スプートニク 2016 年 08 月 14 日 23:09）

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <http://goo.gl/MFCL4t>

シリアにロシア空軍基地が存在することで遠方でテロリストと戦うことができる。セルゲイ・シヨイグ国防大臣が述べた。

「シリアにロシア空軍基地が必要なのは、遠方で賊と戦うためだ。シリアは磁石のように絶対的にすべての地域から武器を呼び寄せる。私は絶対的にということを極めて意図的に言っている。なぜなら私が何を言っているか私は知っているのだから。」

ショイグ氏は、ロシアやC I S 諸国出身の多くの同胞がシリアで武装勢力の側についているというプーチン大統領の言葉は、今日特にアクチュアルだと指摘した。

<http://sptnkne.ws/bUQx>

スノーデン氏、20万ドル稼ぐ

(スプートニク 2016年08月14日 23:10)

© East News/ Courtesy Everett Collection <http://goo.gl/MjVak2>

中央情報局 (C I A) 及び国家安全保障局 (N S A) の元局員エドワード・スノーデン氏は20万ドル稼いだ。これはアメリカのテレビ出演料だ。コロラド大学がスノーデン氏に講義料として5万6,000ドルを支払ったことは有名だ。米フォックスニュースが報じた。

また、スノーデン氏の弁護士は、スノーデン氏は法律を全く破っていないと保証する。さらに、氏はきちんと納税もしているという。弁護士は次のように述べた。

「デモクラシーと世界中の視聴者の監視というテーマでスノーデン氏が出演して稼ぐことに、なんら不備もない。」

先に伝えられたところによると、エドワード・スノーデン氏は、iPhone 6 を諜報機関の追跡から守る、スマートフォンのケースの開発に取り組む。

<http://sptnkne.ws/bUWH>

日本、バイカル湖を殺すプロジェクトへの参加に同意するか？

(スプートニク 2016年08月14日 23:34 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Vladimir Smirnov <http://goo.gl/0esutQ>

世界で最も純粋な湖バイカルが脅威にさらされている。湖への水の流れの主な源 (湖への水の流入の80%に及ぶ) セレンガ川とその支流にモンゴルが水力発電所を建設しようとしているのだ。モンゴル経済はエネルギー容量を緊急に増加させる必要に直面している。農業、建設、社会その他の需要に向けて、同国はますます多くの水を必要としている。プロジェクトはまた、モンゴルの石炭火力発電所からの電力への依存を減らすことを目指している。しかし、湖への水の流入の主な源と

なる川への水力発電所やダム建設は、水質の大幅な低下、延いては浅瀬化につながる。事実上、湖自体の生態学的災害なのである。

少なくとも6件のプロジェクトがある。これらのうち、最も進捗しているのが、3つの水力発電プロジェクトである。セレンガ川の「シュレン」とその支流における「オルホン」および「エギイン・ゴル」。後の二つは同名の支流に建設される。バイカルにとって最も危険なプロジェクトは「エギイン・ゴル」とされる。というのも同名の支流は1995年に署名された越境河川の利用に関するロシア・モンゴルの合意の適用外なのだ。したがって、この川で何をしようと、それは主権国家たるモンゴルの内政問題だ。モンゴル人自身は、自分たちはバイカル湖の生態を懸念しており、その点でロシア人にも、また古来湖畔に住みこの湖を神聖な場所であり自らの揺籃の血と見なしているブリヤート人にも劣らない、と主張している。

しかし、「グリーンピース」と国際環境保護団体「国境のない川」は、湖にとって壊滅的な計画の実施を防止するため、モンゴルのプロジェクトを閉鎖しようとしている。科学者によると、水力発電所の建設は、湖に害を与えるだけでなく、魚や鳥の希少種の絶滅につながるおそれもある。「湖の水位の低下およびその段階的な浅瀬化により、アラル海の状況が繰り返されるかもしれない」と繰り返しロシア天然資源省は述べている。しかも、近年、バイカルは、それだけでなく水量不足に苦しんでいた。外交手段を通じてプロジェクトの停止を達成するロシア側のすべての試みは結果をもたらさなかった。今年6月にはこの問題に関する自らの立場をプーチン大統領も、タシケントで開かれたモンゴルのツァヒアギン・エルベグドルジ大統領、中国の習近平国家主席との会談で述べている。

「プロジェクトに対するロシアと国際環境保護団体の立場は既に知られている。その実施はロシアのイルクーツク州の水の供給および湖のユニークな生態系に一定のリスクを生じさせる可能性がある。セレンガ川はバイカル湖の主な支流だ。モンゴルにおけるエネルギー不足に関しては、それは深刻な問題であり、我々はそれを理解している。ロシアの水力発電所は、モンゴルの北部地域への電力の供給を増やすことができる。この問題を解決するための他の選択肢もある。そして、我々はモンゴルと中国のパートナーとそうした水力発電所を建設する計画に関して、共同で取り組むことに関心がある」とプーチン大統領。

モンゴルのプロジェクトの資金調達役を世界銀行と中国が買って出た。しかし国際環境保護団体とロシア大統領のメッセージを受け、世界銀行は環境影響評価の必要性について語った。中国はプロジェクトのために10億ドルを供給するプロセスを停止した。ユネスコも懸念を表明した。一方、水力発電所プロジェクトのディレクター、オドフ・ドゥルゼ氏は、環境問題に関するロシアの懸念は根拠がなく、とロシア、中国、ユネスコの異議は政治的に動機づけられていると述べた。「私たちがあきらめたら、ロシアや中国の許可なしには何もできないということになってしまう」と同氏は述べ、水力発電所建設が計画されている「エギイン・ゴル」は国境を越える川ではなく、ならば建設はモンゴルの内政問題だと強調した。世界銀行と中国がプロジェクトへの資金拠出を停止した今、モンゴルはノルウェー、韓国、日本など他の国からの資金調達を模索する準備ができている、とオドフ・ドゥルゼ氏。日本はバイカル湖を殺すプロジェクトに参加することに合意するのか？

先に伝えられたところによると、バイカルで、焼けた松の代わりに 250 万本以上の松が植えられた。

<http://sptnkne.ws/bUQD>

ロシアは新たな国際秩序を作り出す、伊マスコミ

(スプートニク 2016 年 08 月 15 日 08:22)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://goo.gl/y374NG>

ロシアのウクライナ政策とシリアでの行動、トルコとの和解はプーチン大統領のロシア周辺での「新たな野心的な国際秩序」への意欲を示している。伊トリノ紙『La Stampa』が報じた。

これらの方向でのロシア対外政策の活発さを分析し、同紙は「プーチン大統領は明らかな方法で米国の影響力を低減する意向だ。ウクライナではプーチン大統領は東欧での保証という米国への信頼を弱めようとし、シリアでは米国連合のそれと比較してロシアのジハードイストとの戦いのしっかりした準備を示す賭けに出ており、トルコではトルコ政府とNATOの関係に意見の相違を引き起こす狙いだ。」

これを受けて、最近形成された西側諸国のイメージに意識が向けられた。そのイメージとは、移民とテロ問題に関する矛盾で引き裂かれ、経済的に衰退し抗議運動の面でリーダーシップをとる能力が不完全だと示しているというものだ。

<http://sptnkne.ws/bUWP>

韓国大統領、日韓関係は将来を見据えたものであるべき

(スプートニク 2016 年 08 月 15 日 23:42)

© REUTERS/ Lee Jung-hoon/Yonhap <http://goo.gl/ToQ1LK>

韓国と日本は、将来を見据えた関係を構築するため力を傾けるべき。韓国のパク大統領は日本の植民地からの独立解放 71 周年を祝う 8 月 15 日の光復節で行った演説でこう語った。パク大統領の演説は日本に対する厳しい表現を避けており、日本植民地時代の慰安婦問題に関する合意締結後の二国間関係の改善の証拠と評価された。

安倍首相も戦争の惨劇を繰り返さぬよう呼びかけたが、一方で戦時中に日本が近隣諸国に対して行った攻撃については言及を避け、日本は将来戦争を行わないという約束にとどまった。15 日、共同通信が報じた。

「あの、苛烈を極めた先の大戦において、祖国を思い、家族を案じつつ、戦場に倒れられたみ霊、戦禍に遭われ、あるいは戦後、はるかな異郷に亡くなられたみ霊、皆さまの尊い犠牲の上に、私たちが享受する平和と繁栄があることを、片時たりとも忘れません。」

世界中から平和憲法の改憲を行おうとする試みに対して非難されている安倍首相は、終戦記念日の今日、東京の武道館で行われた全国戦没者追悼式で式辞でこう述べた。これと対照的に昭仁天皇のほうが安倍首相よりもより反省の度合いが強い演説を行っている。天皇は同く追悼式に列席し「戦争の戦争の惨禍を決して繰り返さない」と述べた。

<http://sptnkne.ws/bVaB>

ロシアと西側の関係は以前のレベルに回復可能、ラヴロフ外相

(スプートニク 2016年08月15日 22:38)

◎ Sputnik/ Alexander Vilf <http://goo.gl/30NwSC>

ロシアのラヴロフ外相はロシアと西側の関係は以前のレベルに戻るとの確信を表した。外相はロシアは孤立状態に陥ってしまうつもりはないとして「遅かれ早かれ我々の関係は確固たる軌道に戻ると確信している」と付け加えた。

こう語る一方で外相は露独関係についてはたやすくない段階を迎えていることを認め、「これは我々の国が積極的に決定的な役割を演じ、ドイツが統一を果たした時以来、これは最も複雑な段階だと思う」と語っている。

これより前、シュタインマイヤー独外相はウラル連邦大学で講演に立った中で、ドイツとロシアは意見の相違はあっても対話を維持せねばならないと指摘していた。

シュタインマイヤー外相はロシアとドイツは接近すべきという考えを多くの人が持っていることを明らかにした上で、「私もそのひとりだ」と語っている。先に伝えられたところによると、メルケル独首相は、最終的にEUの対ロシア制裁を解除する合意を結ぶことを目指すと語った。

<http://sptnkne.ws/bVdh>

プーチン大統領、独立71周年につき金正恩氏を祝福

(スプートニク 2016年08月15日 22:28)

◎ REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/g6lKmm>

朝鮮中央通信社によると、ロシアのプーチン大統領は、第二次世界大戦における日本の支配から

の朝鮮の解放 71 年目の記念日に、北朝鮮の金正恩第一書記を祝福した。

プーチン大統領は、ロシアと北朝鮮の間の対話と協力が朝鮮半島と北東アジア全体の平和と安定に貢献するという確信を表明した。また、ロシア大統領は金正恩氏の健勝と成功、そして北朝鮮のすべての人々の幸福と繁栄を祈願した。

朝鮮は日本の天皇が第二次世界大戦降伏の決定を発表した 1945 年 8 月 15 日、旧ソ連の軍隊によって日本の植民地支配から解放された。北朝鮮の首都平壤の中心部にあるモラン丘の中腹にはソ連兵士を顕彰した記念碑「解放」が聳えている。

先に伝えられたところによると、北朝鮮のリ・ヨンホ外相が国連会合に参加するため 9 月米国を訪問する可能性がある。

<http://sptnkne.ws/bVeN>

ロシアでエアバッグに欠陥のあるホンダ社の車、5万 5,000 以上発見

(スプートニク 2016 年 08 月 15 日 22:22)

◎ Flickr/ Abiez <http://goo.gl/ehK1I>

ホンダは誤って組み立てられたエアバッグを理由にロシアの CR-V、Accord、Jazz という車種 5 万 5,590 台をリコールした。ロシアの連邦技術規制・度量衡局（ロススタンダルト）が報じた。リコールされるのは、05 年 10 月～08 年 12 月までに製造された Honda Accord 3 万 8,855 台と、05 年 12 月～06 年 10 月に製造された Honda CR-V5587 台、そして 05 年 10 月～08 年 12 月までに製造された Honda Jazz 1 万 1,148 台だ。

プレスサービスで次のように述べられた。「製造過程でのミスの結果、エアバッグが意図せぬ方法で作動する可能性がある」。先に伝えられたところによると、米運輸省は、タカタ製エアバッグの欠陥問題で、2019 年までに 3,500 万から 4,000 万個の部品を追加リコールする方針。

<http://sptnkne.ws/bVf2>

トルコ領内の米核兵器がテロリストに奪われる可能性を見落とす

(スプートニク 2016 年 08 月 15 日 22:15)

◎ AFP 2016/ Stringer <http://goo.gl/Ztxl94>

トルコのインジルリク空軍基地への米核兵器常時配備はトルコに、テロリストおよび敵対勢力による核兵器の奪取という深刻な危惧を引き起こした。米シンクタンク「スティムソン」が公開した

報告書でそう述べられている。

専門家は、米国にはトルコで継続する内紛を背景に 50 発の原子爆弾「B61」をコントロールを維持できるという完全な自信はないと見ている。失敗に終わったトルコの軍事クーデター未遂の際、政府は空軍基地へのアクセスを制限し、司令官はクーデターに関与したと疑われ逮捕された。

報告書には次のように述べられている。「安全保障の面からは、約 50 発の核兵器をインジルリク空軍基地に有するのはサイコロを投げるようなものだ」。

報告書ではすぐさま「B61」を欧州から回収して、1 発 600 万ドル以上かかるこの種の兵器購入をやめることが勧められている。報告書では次のように強調されている。「これらの爆弾は現代の戦争には不適當で、信じられないほど高価だ」。

<http://sptnkne.ws/bVgs>

アルミヤ 2016－革新的な軍事フォーラム

(スプートニク 2016 年 08 月 15 日 23:01)

◎ Sputnik/ Alexey Kudenko <http://goo.gl/fjAhIN>

ロシア国防省先進技術（革新的研究）学術研究活動局の次長ロマン・コルジュコフ少将は、スプートニクの取材に対し、モスクワ郊外のクビンカで 9 月 6～11 日に開催される国際軍事技術フォーラム「アルミヤ 2016」の特徴について語った。

国際軍事技術フォーラム「アルミヤ 2016」はロシア国防省の会議・展示活動の枠組みの中で開催される。国際展には、先端技術をロシア製武器生産の応用する条件作り支援や、武器産業発展の優先方向を策定するという特別な役割がある。すでに開催された同種のイベントで、ひとつの展示場で軍民製品の開発者、生産者、消費者をひとつにし、協力の条件を作り出すことができた。これらは産学の提携、軍産複合体の経済状況強化、長期的展望のもとでの作業といったことを目指したものであった。

「アルミヤ 2016」は 40 のテーマに分割されている。国際展示「インテレクチュアルな工業技術 2016」も併催され、高度生産装置や軍産複合体工場再装技術が展示される。

フォーラム開催のため「パトリオット」会議・展示センターとアラビノ訓練場、「クビンカ」空軍基地のインフラが全面稼働される。静止的な展示では 973 の団体・企業が 9,000 あまりの展示品を展示する。合意、契約締結や交渉実施のためにビジネス界の代表者向けに最大限快適な条件を整えた特設コーナー「実務コンタクトの取引場」が設けられる、とコルジュコフ氏。

107 カ国に招待状が送られた。地球のほぼあらゆる地域の国々が軍事代表団を派遣することを確約

している。それは集団安全保障条約におけるロシアの同盟国やC I S加盟国の代表者、上海協力機構やB R I C Sのメンバーだけではない。先に伝えられたところによると、国防省、装備に採用されたロシアのレーザー兵器について説明した。

<http://sptnkne.ws/bVx9>

ロシアはN A T Oの巡航ミサイル 624 発からシリアを救った

(スプートニク 2016年08月16日 01:53)

© Sputnik/ Michael Alaeddin <http://goo.gl/8xsGvL>

ロシアの行動がN A T Oによるシリア領内への 624 発の巡航ミサイル発射を阻止した。ロシアのセルゲイ・ショイグ国防相が報じた。ショイグ国防省は次のように述べた。

「あなたが次のように自分に問いかけるとき、シリアへの関係に関する状況は変わる。我われの大統領(プーチン大統領)が説得し、化学兵器の廃棄処分というアイデアを実現するのに成功しなかったら、何が起こっていたか。巡航ミサイル-念のためにいうと 624 発の-のことだけを言うと、巡航ミサイルはシリア中に大規模な爆撃を加える準備があった。」

ショイグ国防相は、これほど大規模な爆撃が加えられた際には、シリアの国家機構の再建は極めて難しかっただろうと付け加えた。

<http://sptnkne.ws/bVxB>

タイムズ：ロシアはN A T Oの神経を逆撫でしている

(スプートニク 2016年08月16日 05:53)

© AFP 2016/ Brendan Smialowski <http://goo.gl/PQ2Q41>

プーチン大統領ととるこのエルドアン大統領との和解に続くクリミアへの最新鋭の対空ミサイルシステム配備は、「N A T Oの神経を逆撫でする」ことを目的としていると英紙タイムズが報じている。同紙が述べるところ、ロシアの軍事的プレゼンス強化と、N A T Oを揺り動かした軍事クーデター未遂のあったトルコとの関係改善は、ロシア政府の意図について考え込ませる。プーチン大統領のセルゲイ・イワノフ元大統領府長官解任の決定は、ロシア政治の専門家を困惑させたさらにもう1つの予想外のジェスチャーとなった。

同紙によると、ロシアはN A T O内のあらゆる意見の相違を自らの得になるよう利用していくという。さて、トルコではすでに国防分野での新たなパートナー探しが声明されており、N A T Oはロシアへの発言だと見ている。同紙によると、N A T O内でトルコの加盟に異議は唱えられていな

い。ただトルコは西側から離れていっているという感触が強まった。

<http://sptnkne.ws/bVxD>

東京とソウルを和解させようとするワシントンの取り組みを破壊する歴史

(スプートニク 2016年08月16日 07:21 タチヤナ・フロニ)

© REUTERS/ Toru Hanai <http://goo.gl/2t3JSN>

戦争の再発を防止するよう安倍首相が第二次世界大戦における日本の降伏から71年年目となる日に訴えた。しかし、アジアの近隣諸国に対する侵略に言及せず、日本が将来戦争を行わないことも約束しなかった。日本のイベントが追悼的であったのに対し北朝鮮と韓国のそれは祝祭的だったことを指摘した専門家らはこれを見過ごさなかった。しかもイベントの前夜に韓国議員グループがトクト（竹島）を訪問した。日本は外交ルートを通じて訪問停止を求めたが受け入れられず。互いの言い分を聞こうとしない東京とソウルの姿勢は歴史的な日付に特に明らかとなった。ロシア科学アカデミー経済研究所朝鮮研究プログラム代表ゲオルギイ・トロラヤ氏がスプートニクに語った。

「両国の関係はまだ思わしくなく、歴史的な日付は火に油を注ぐだけだ。過去数年間、アジア太平洋地域における二つの主要な同盟国である韓日を仲良くさせようとする米国の努力にもかかわらず、韓国のパク大統領と日本の安倍首相はほとんど会談しなかった。東京とソウルの間での齟齬をせめて少しでも埋める機会は最近になってやっと訪れた。きっかけは日本がいわゆる「従軍慰安婦」問題を政府レベルで認めたことだ。そして、被害者らに金銭的補償を支払うことも決められた。この問題は解決されたかに見えた。しかし、日本政府の行動は遅きに失したようで、韓国の世論は理解をもってこれを受け止めなかった。女性らの名誉と尊厳はまだ回復されていないとして、韓国人の大半がこの取引を不名誉なものとしている。存命の被害者は非常に少ないので、抗議はそれほど頻繁にはないが、続いている。韓国の反日感情はまだ非常に強い。トクト（竹島）に対する日本の領土要求に関してもそうだ。したがって、歴史的な日付は両国でナショナリズムの感情を喚起する。日本がますます本格的に軍国主義化を進め天皇の権力を回復させようとしている今日ならなおのこと。すべての日本の近隣諸国で不安と深刻な政治的懸念が呼び起こされている。」

ワシントンはこの懸念を軽減するために、共通の脅威に対して地域の同盟国を結集しようとする試みをあきらめていない。共通の脅威は公には通例北朝鮮からのミサイルや核の脅威とされる。最近では、ソウルが建設しようとしている米国のレーダーによって収集された諜報情報を交換する日韓合意が結ばれた。韓国のレーダーや対ミサイルシステムの配備に対する抗議は非常に強く、パク大統領が弾劾で脅かされる事態にもなった。また、北京とソウルの関係も悪化した。韓国への米国ミサイル防衛システムの配備には実際には中国というファクターが大きいからだと専門家。

「誰かを敵に回して友情を結ぶことは日本と韓国はあまり望んでいない。しかし、ワシントンとの関係は、ソウルと東京双方にとって国家安全保障の基盤である。そして、この三国同盟で

米国が主要な役割を果たしている間は、何かが変わることはほとんど期待できない。米国がこの米日韓三角ブロックを強化するためにどこまでのことができるかは、まだ将来の問題だ。また、次の米政権に依存する。もし米国の新大統領がトランプ氏になると仮定した場合、彼は既にあけすけに、同盟国を支援する気はない、と述べている。」

多くの専門家はトランプ氏の発言を大統領選挙戦でのレトリックととらえている。中国ファクターを背景に、ワシントン、東京、ソウルの戦略的關係は安泰であると。しかし、近い将来、日韓がさらに歩み寄りをする前提条件もまた存在しない、とゲオルギイ・トロラヤ氏。

<http://sptnkne.ws/bVwn>

ウクライナ元大統領、プーチン大統領を見たいというウクライナ人の希望を語る

(スプートニク 2016年08月16日 08:07)

© Sputnik/ Eugeny Kotenko <http://goo.gl/8h1DwI>

ウクライナのヴィクトル・ユシチェンコ元大統領が、08年に大多数のウクライナ人はウクライナ大統領のポストにいるプーチン大統領を見たがっていたと述べた。月曜日15日、ユシチェンコ大統領はウクライナのニュースサイト「А н о с т р о ф」のインタビューで次のように述べた。

「我われは私がまだ大統領だった08年に社会学をした。そのときは70%のウクライナ人がウクライナ大統領としてプーチン大統領を見たがっていた。ウクライナ人の半数以上が、プーチン大統領を自らの大統領として見たいかとの質問に、見たいと答えた。」

ユシチェンコ大統領は、キエフ政権は弱い国家のアイデンティティと国家統一の欠如のためクリミアとドンバスでのコントロールを維持することができないと付け加えた。先に伝えられたところによると、ウクライナのペトロ・ポロシェンコ大統領はクリミアと境界線を接するウクライナ・ヘルソン州の軍の軍部隊の戦闘準備を強化するよう指示した。

<http://sptnkne.ws/bVxE>

中国、戦争を準備しているとして日本を非難

(スプートニク 2016年08月16日 08:43 アレクサンドラ・アリューシナ)

© AP Photo/ Eugene Hoshiko <http://goo.gl/pke9BN>

日本はその防衛計画の枠内で係争諸島を含む遠隔地防衛用の新型ミサイルを配備する意向だ。日本のメディアによると、尖閣諸島を防衛可能な新型地对艦ミサイルが宮古島など先島諸島の島々に配備される可能性がある。予算は2017年分として組まれる予定。

この知らせに中国メディアは強い反応を示し、日本が招来の侵略戦争に備えている、と報じた。北東アジア研究所長ダ・ジガン氏は、射程 300km のミサイルは中国の沿岸地方を狙ったものかもしれない、と述べた。中国外交大学国際関係研究所のジョウ・ユンシェ教授は、当該ミサイルが配備されるとすれば、それは日本が激しい戦闘に備えていることを意味する、としている。「このミサイルはロシアの S-300 をも飛距離で上回っており、しかも中国のミサイル複合体より完成されている」とのこと。

日本のブロガーたちはこれとは異なる立場を示している。「え、23 年度？ あと 7 年ほどかかるの？」「尖閣に配備せい！」「配備される頃まで中国が待っててくれると良いけど」「アメリカからミサイル買った方が早い」等のコメントが見られる。太平洋の係争諸島が日中軍事紛争の現場となるのか？ 軍事専門家ウラジスラフ・シュルィギン氏は次のように語る。

「日本は実は中国との戦争を望んでいない。両国とも強度の経済的依存関係にある。紛争があれば 10 年以上続く出口の見えない不況にあえぐ日本経済に深刻な打撃となる。エネルギー面では日本はなお福島第一原発事故と津波の被害からの完全復活に程遠い。復興には長い平穏な時が必要なのだ。第二に、日本の自衛隊は中国の敵になるに十分な攻撃力を持っていない。海上自衛隊は充分現代的で人員数も多いが、諸島を固守できるような上陸部隊もない、攻撃力もない。少なくとも現時点で自衛隊に取るに足るほどの拡張を行える力はないのだ。中国のほうはかなり以前からアジア太平洋地域のリーダーとなること、地域における古くからの地政学的ライバル日本を駆逐することを優先課題としてきた。しかし中国も、日本の背後には米国がおり、米国は強大な軍事力でアジア太平洋地域の自国益を守ろうとしているということをよくわかっている。軍事面では米国は日本よりはるかに強大な相手だ。」

8 月初頭米国国防総省はグアム基地に老朽化した B52 にかえて戦略爆撃機 B-1B ランサーの戦隊を派遣した。原因は北朝鮮のミサイル実験という。しかし B-1B ランサーに「遠方攻撃に関する排他的能力」があることを考えると、これは中国への警告ともみなされかねない。ただし、遠方防衛レベル向上計画が日本の安全保障計画に組み込まれたのは 2013 年だ。当時は射程 500 km の自前の弾道ミサイルを 2016 年までに開発開始する計画さえなされた。しかし新公明党の、そうした動きは憲法 9 条に抵触するのではとの懸念から、防衛相は計画取り下げを強いられた。

<http://sptnkne.ws/bVxF>

ロシアとトルコにドル廃止の可能性

(スプートニク 2016 年 08 月 16 日 09:32)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <http://goo.gl/pX5fC2>

ロシアとトルコは自国通貨建てに移行する可能性がある。ペテルブルクで行われたプーチン大統領とトルコのエルドアン大統領の会談の結果明らかになった。

両大統領によると、ロシアとトルコの自国通貨建てはロシアとトルコ間の貿易量を大幅に増やす可能性があり、それは特に旅行セクターでの雇用の増加につながる。

高等経済学院の教師であり東洋学者のアンドレイ・チュプリギン氏は次のように述べている。

「自国通貨建てはすでに中国、韓国そして一連の南米諸国で実現されている。しかし、自国通貨建て移行は、米国ドルが依然として世界で最も強い通貨である以上、極めて複雑で長いプロセスだ。」

先に伝えられたところによると、トルコのメヴリュト・チャヴシュオール外相は今日 11 日、トルコはシリアでの対ダーイシュ（イスラム国、IS）共同作戦の可能性をロシアと審議する準備があると声明した。

<http://sptnkne.ws/bVxH>

ロシア、低原油価格時代の終わる時期を予測

（スプートニク 2016 年 08 月 16 日 10:36）

◎ Flickr/ Nate Grigg <http://goo.gl/2INa5m>

ロシアのエネルギー省は、世界の原油市場が均衡を取り戻し、原油価格が安定するのは、2017 年だと見ている。アレクサンドル・ノヴァク・エネルギー大臣が述べた。

「カナダの市場が容量を回復させ、ナイジェリアでの探鉱も続いており、生産過剰が再び起こるので、原油市場が均衡を取り戻すのは 2017 年であると期待する」と大臣。2017 年の終わりまでに低原油価格時代は終わるといふ。

「ほとんどの専門家によると、経済危機の底が克服されており、原油市場の需給均衡回復の過程が始まっている。2017 年の終わりまでに低原油価格時代は終わり安定すると見ている」と大臣。ただ、価格が近々にバレル当たり 100 ドルの大台に到達することはほとんどあり得ないとした。

<http://sptnkne.ws/bVxK>

被爆国日本をはじめ米連合諸国が、オバマ大統領の核の先制不使用政策に異議

（スプートニク 2016 年 08 月 16 日 11:37）

◎ REUTERS/ Kevin Lamarque <http://goo.gl/ly1X5A>

オバマ米大統領が近日中にも行おうとしている「核の先制不使用」宣言にフランスと日本が異議

を表明。ワシントンポスト紙が報じた。日仏がこれに反対する理由は「米大統領の決定は米国連合
国にとって自国の安全保障に憂慮を強いる」からだという。

「連合国の数カ国は米大統領府に対して核の先制不使用を宣言することで、核兵器に対する自国の
政策を変えぬよう説得している。英国、韓国、仏、日本の政権はオバマ大統領の政策変更がありう
るとして各国がそれぞれに憂慮を表明した。」ワシントンポスト紙が報じた。核の先制不使用につ
いては議会では共和党が反対しており、大統領府内ではいまだに討議が続けられている。

<http://sptnkne.ws/bVR4>

靖国神社に再び注目集まる 中国 日本政府の行動に断固たる抗議表明

(スポーツニク 2016年08月16日 18:15)

© AFP 2016/ Kazuhiro Nogi <http://goo.gl/QqQ90x>

中国外務省は、日本の複数の政治家が靖国神社に参拝したことを受けて、抗議を表明した。この
神社は、中国では、日本軍国主義のシンボルとみなされ、日本側のこうした行動は歴史問題に対す
る日本の「誤ったアプローチを反映したもの」と受け止められている。

終戦記念日の15日、月曜日、安倍首相は、靖国神社には参拝しなかったものの、自民党の西村総
裁特別補佐を通じて、自民党総裁として、靖国神社に私費で玉串料を納めた。中国外務省の華春瑩
報道官が発表した声明の中では、次のように述べられている—

「日本政府の一部の閣僚が、第二次世界大戦の犯罪者が祭られた靖国神社を訪れ、侵略戦争を
美化した。これは、歴史問題に対する日本の誤った態度を再び映し出したものだ。中国側は、
これに関連して、断固たる抗議を表明する。」

また中国外務省は、日本側に対し、行われた侵略戦争の事実を「深く認識するよう、切に求め」、
アジアの隣国、そして国際社会の信頼を自らの実際的な行動によって獲得するよう訴えた。先に伝
えられたところによると、日本は、靖国爆発音事件を抗議行動ととらえようとはしない。

<http://sptnkne.ws/bV2n>

WADAへの情報提供者ステパノワ氏 命の危険を訴え

(スポーツニク 2016年08月16日 20:37)

© Sputnik/ Elena Sobol <http://goo.gl/kA5f0q>

WADA（世界アンチドーピング機関）に情報を提供したロシアの陸上選手、ユリヤ・ステパノ

ワ氏は「私と夫は、自分達の命を心配している」と述べた。AP通信が伝えた。

ステパノワ氏は、次のように述べた—

「もし私達に何か起きたとしたら、それは偶然ではないと考えてほしい。私達は、自分達の安全を守るためにあらゆることをしている。居場所を移動しているのもそのためだ。しかし同時に私達は、もし誰かが、実際私達に何かをしたいなら、それは可能だとも思っている。」

さきにステパノワ氏は「自分の居場所についてWADAに伝えている私の電子メールやADAMSのアカウントは、ハッキングされている」と語った。

彼女の代理人は、この事は、誰かがステパノワ夫妻の移動について知りたいと望んでいることの証拠である、と考えている。

ユリヤ・ステパノワ氏が、夫のヴィターリイ氏と共に伝えた情報が、ドイツのテレビARDが制作したロシアの陸上界におけるドーピング・スキャンダルに関する特別番組の根拠となった。その後、国際オリンピック委員会は、リオデジャネイロ五輪へのロシアの陸上選手の出場を除外すると発表している。

なおステパノワ氏は、国際オリンピック委員会の決定は公正ではないとし、判決を見直すよう求めている。

<http://sptnkne.ws/bV2z>

トランプ氏 ダーイシュとの戦いにおいてロシアと協力する用意あり

(スポーツニク 2016年08月16日 21:03)

◦ Flickr/ Gage Skidmore <http://goo.gl/7NidZd>

米共和党の大統領候補トランプ氏は「米国はテログループ『ダーイシュ（IS、イスラム国）』との戦いにおいてロシアとの間に共通の言葉を見つけることができる」と述べた。

オハイオ州で支持者を前に演説したトランプ氏は「ロシアもまた、シリアの状況解決に関心を持っている」と強調し「ロシアも米国同様、テロリストと真剣な戦いを続けている。これはロシアにとって大変重要な問題だ」と指摘し、次のように続けた—

「私は『ダーイシュ』との戦いにおいてロシアとの間に共通の言葉を見つけることができると信じている。また私は、テロリストとの戦いにおいてNATOとも密接に働いてゆくだらう。NATOは、テロリストらをこれまで十分効果的に処理できていない。」

先にトランプ氏は「オバマ大統領は『ダーイシュの生みの親』である」と発言したが、後になって、そうした自分の発言は「皮肉である」と述べている。

前に伝えられたところによると、トランプ氏が「修正第 2 条の人々」がクリントン氏を止めるかもしれない、とのフレーズで怒りを買った。

<http://sptnkne.ws/bV3x>

ロシアの爆撃機がイラン・ハマダーン空軍基地に出現

(スプートニク 2016 年 08 月 16 日 21:19)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://goo.gl/zbl1zN>

ロシアの爆撃機 TU-22M3 がイラン・ハマダーン空軍基地で発見された。飛行機の写真はツイッターのあるアカウントで公開された。写真が撮られたのはイランの北西に位置する第 3 戦術空軍基地だ。写真には TU-22M3 の横には、ロシア空軍の軍事輸送航空コマンドのカラーリングの軍事輸送機 IL-76 が写っている。先に伝えられたところによると、プーチン大統領は、ロシアがテロ対策のために情報交換を強化すると述べた。

twitter.com/ <https://goo.gl/8S7HsB>

<http://sptnkne.ws/bV3D>

イランの空軍基地から離陸したロシアの爆撃機がシリアにあるダーイシュ施設を爆撃（動画）

(スプートニク 2016 年 08 月 16 日 21:20)

◎ 写真: Ministry of defence of the Russian Federation <http://goo.gl/qWSGAw>

イランの空軍基地から出撃したロシアの爆撃機がダーイシュ（IS、イスラム国）とヌスラ戦線施設に爆撃。ロシア国防省が報じた。

動画 https://youtu.be/gr7uV_7_m0I

ロシア国防省は、爆撃の結果 Serakab、アル・バーブ、アレッポとデリゾールにあった武器、火薬、燃料および潤滑剤のあった 5 つの大型倉庫と戦闘員の訓練キャンプ、Jafra とデリゾールにあった 3 つの司令基地、そして多数の戦闘員を殲滅した。

ロシア国防省は次のように述べている。「アレッポ地域で活動している戦闘員供給のため使用されていた武器・火薬倉庫、訓練キャンプ、指令基地は爆撃の結果破壊された」。また、次のように

強調された。「ロシアの全機は成功裏に軍事任務を遂行した後、空軍基地に帰還した」。

先に伝えられたところによると、ロシアの爆撃機 TU-22M3 がイラン・ハマダーン空軍基地で発見された。

<http://sptnkne.ws/bV4y>

ベトナム 米に不干渉を要請か？

(スプートニク 2016年08月16日 18:37)

◎ REUTERS/CSIS Asia Maritime Transparency Initiative/DigitalGlobe <http://goo.gl/mdZcpp>

米国が、ベトナムに対し、南シナ海での緊張をエスカレートさせず、スプラトリー諸島からミサイルを撤去するよう求めたとのニュースは、スプートニクの読者の間で嵐のような反応を呼び起こした。数日間で約30万回も、スプートニクのサイト上で、このニュースが読まれ、書き込まれたコメントは300を越した。主に、そうしたコメントの中では、ベトナム領であるスプラトリー諸島を守る用意のある事、南シナ海における中国の膨張主義に反対する意見が述べられている。いくつかご紹介したい。

ブンタウ（ホーチミン市近郊）のハイ・ダンレ氏の意見—「1974年、ベトナムはパラセル諸島を失った。なぜなら米国が、毛沢東と共謀したからだ。米国は、自分達の利益だけを守り、巨大国との関係を優先し、小国との関係をないがしろにする。」

グエン・ヴァンロン氏の意見—「ベトナム国民は、中国に対抗するため島にミサイルを配備するという決定を歓迎している。そうしたことをするなという米国の要求は、南シナ海の緊張が高まっている中での、戦術的な措置である。」

ヴィン・ヴォヴァン氏の意見—「米国を信用してはだめだ。中国もそうであるように、彼らの目的は、自分達の影響力の拡大である。ベトナムは、自分自身だけを頼りにし、いかなる侵略者にも立ち向かう用意がある。」

これらユーザー達の勇ましい反響の中には「ベトナムは、自分の力を拡大すべきだが、大きな力を持った敵との軍事衝突を挑発してはならない。20世紀に30年間も戦い続けたベトナム国民は、戦争とは何かを大変よく知っている」といった、より考え抜かれた行動を求めるものもある。またユーザーは、反中同盟を日本やインドと組むことに期待を寄せ、領土問題を外交的手段で解決することの重要性を強調している。

<http://sptnkne.ws/bV6k>

ロシアの威信、最新の軍事機器！

(スプートニク 2016年08月16日 20:37)

© Sputnik/ Sergey Mamontov <http://goo.gl/uHYULn>

ここ数年でロシア軍は目を見張るほどの規模で軍事機器の刷新を行った。あなたの考える最強の無敵の機器はどれか？

写真横の矢印をクリックして選択してください。

<http://sptnkne.ws/bV8U>

米国のリビア、イラク侵略は「致命的ミス」だった

(スプートニク 2016年08月16日 20:50)

© AP Photo/ Denis Doyle <http://goo.gl/o1CZpV>

米オハイオ州での演説中に米大統領選共和党候補のトランプ氏は、リビアとイラクへの侵略は外交政策の分野での米国の「致命的ミス」だったと述べた。

トランプ氏はまた、もし氏が大統領に選ばれたら現政権が関与している中東での政権交代と国家建設という政策を取りやめると述べた。

「私が大統領になれば、(中東での)国家建設政策には迅速かつ決定的な終わりが待っている。」

トランプ氏はまたオバマ現大統領とクリントン元国務長官を、中東の不安定化とテロ組織ダークイッシュ(イスラム国、IS)形成に導いた政策実現で非難した。

<http://sptnkne.ws/bVAy>

ダークイッシュから逃げ出した元性奴隷の女性、拷問の恐怖を語る

(スプートニク 2016年08月17日 00:43)

© AP Photo/ Fred Ernst <http://goo.gl/DzIdrX>

ダークイッシュ(イスラム国、IS)で性奴隷にされていたが上手く逃げ出せたナージャ・ムラド(21)さんは自らの捕虜生活の恐怖、そしてどのような少女をテロリストは好んで罫におびき寄せるのかを語った。英紙『ザ・サン』が証言を公開した。

ナージャさんは、性奴隷候補の女性は主に次の2つのルートで手に入れられると述べた。それはナージャさんのケースのように、人身売買をする他のテロリストから購入するか、結婚と長く幸せな結婚生活を約束してソーシャルネットワークを通じておびき寄せるかだ。

ナージャさんがダーイシュの拷問室に連れられたのは、イランにあるナージャさんの故郷が武装戦闘員に襲撃された後のことだ。女子どもは全て捕虜にされ、ブラックマーケットで売り飛ばされた。

ナージャさんが奴隷となっていたのは3ヵ月。その後奇跡的に逃げ出せた。逃走の詳細についてはナージャさんは明かしていない。しかしナージャさんによると、逃走までは死すら怖くなかったという。捕虜になっていた時間は常に強姦され、ひどく暴行を加えられていたという。テロリストから逃げ出し、ダーイシュのキャンプを抜け出そうとした者は公開処刑された。公開処刑された女性の1人は、他の少女の目の前で頭をハンマーで打ち砕かれたという。

ナージャさんが語るところ、性的慰めには戦闘員は青い目と白い肌のブロンドといった西欧的な女性を好むという。まさにそのような女性をテロリストはインターネットで募集し、家を捨て中東に来るように強制している。女性たちには幸せな結婚と強いつながりを持つ家族が約束されるが、実際には到着時に奴隷にされる。さらに、奴隷生活は女性たちが拷問や疲弊で死ぬか、逃亡を試みるまで続く。

<http://sptnkne.ws/bVR9>

ポーランド ナチスの金塊を積んだ列車の発掘開始

(スプートニク 2016年08月17日 02:33)

© AP Photo/ Thomas Kienzle <http://goo.gl/udZwAf>

ポーランドの研究者達は、ナチス第三帝国の金塊を積んだ列車が埋まっていると思われる場所での発掘作業に着手した。ポーランドの新聞「Gazeta Wyborcza」が伝えた。列車内には、300トンもの金塊が残されている可能性がある。研究者達は、ヴァウブジフとシフィエボジツェ間の鉄道上に存在し、今は使われていないトンネルの中に列車は残っていると見ている。トンネルの入り口は、ヴァウブジフ駅近くの堤防の下に隠されているとのことだ。

語り伝えられてきたところでは、金塊を載せたナチスの列車は、1944年にトンネルの中で、崩落のため進めなくなり、そのまま放置されている。研究者らによれば、ナチスの宝は、地下7メートルの場所に眠っている。

<http://sptnkne.ws/bVRA>

米の戦略は露中の合同MD創設を後押し

(スプートニク 2016年08月17日 08:04 タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ Lee Jin-man 1/2 <http://goo.gl/vvXins>

韓国国防省は8月15日、米国が朝鮮半島に配備するミサイル防衛システム(MD)のTHAADに関して、地元住民に対しても環境に対してもその害を最小化することを約束する声明を表した。ところがいかなる公約も韓国国民のくっかた燃える抗議運動の熱を下げることはできていない。抗議市民らは自分らは米韓の危ない合意の人質となったと感じている。この合意はほかの処々の危険のほかに、まさによって韓国はまさにロシア、中国からの報復攻撃にさらされる危険をもたらさるからだ。

ロシアは北朝鮮の核の脅威を理由にTHAADの韓国配備に断固として反対する立場を再三にわたって繰り返してきた。こうした複合体を発見する手段は最高で1,500キロにわたる弾道標的、空力目標を監視する能力を有す。これはつまり韓国からはそう深い内部でなければロシアの領内ものぞくことができることを意味する。これは中国となればかなり奥までのぞくことが可能だ。ロシア人軍事専門家のウラジーミル・エヴセーエフ氏はスプートニクからのインタビューに対して、この状況で米国の行為に適切な報復を行うとすれば、ロシアと中国が共通のMDシステムを創設することだろうとして、次のように語っている。

「米国は戦術的な課題に取り組んでいるが戦略的にはあまりにも深刻な負けを期している。なぜなら韓国に米国のMDを配備することによってロシアと中国はますます接近するからだ。特に対ミサイル防衛の創設分野でも接近するだろう。中国はミサイル攻撃早期警報システムとして機能しうるレーダーを有している。ロシアももちろん様々なタイプのレーダーを有している。最新のものでは遠距離での発見ができる『ヴォロネジM』や『ヴォロネジMD』がそうだ。」

カリフォルニア州、イルクーツク州にある新世代のレーダーは共通のミサイル攻撃警報統合システムの1部を成している。これは事実上、空中、宇宙空間全域をロシアの国境の周囲全体を深さ1万1,000キロにわたって組織的にコントロール下においている。発見の正確さ、及ぶ範囲、モニタリング方向を迅速に変える能力、シグナルをキャッチする角度でロシアのシステムは世界でも類を持たない。しかもロシアと中国のMDは互いを補うことができる。エヴセーエフ氏は、最初の段階ではこれは情報交換センターの創設に表すことができるとしてはさらに次のように語っている。

「今まではこうした活動は露米の間で計画されていたが、今や米国とは不可能で逆に中国との関係では現実的に実現しうる。こうしたセンターはモスクワ、北京に創設しうる。そこにミサイル攻撃についての早期警報の全情報がリアルタイムで交換されるために集められることになるだろう。次の段階としてはロシアのアシュルク射撃場において対ミサイル防衛の合同演習の実施になると思う。中国もまた近い宇宙空間にある物体を作用可能なレーダー兵器がある。こうした作用はつい先日、日本の人工衛星に向けて使用された。作用を受けた日本の人工衛星は目くらましにあい、事実上、作業機能を失った。ロシアにもこうしたレーダーはあるが、戦闘態勢では使われたことはない。これ以外にも中国にはイージスシステムに類似した海上バージ

ョンのMDがある。ロシアにはモスクワの周辺にMDがあるが、これは中国にはない独自のシステムで最高で高度 60 キロの攻撃要素によって迎撃を可能にするものだ。このように露中は互いに提供できるものをもっている。だから合同でMDシステムを作るという原則的な決定がとられた場合、これは韓国へ配備される米MDへのロジカルな報復となる。」

春、モスクワではすでにコンピューターモデリングを用いた露中の初の合同対ミサイル演習が行われている。エヴセーエフ氏は外交や韓国国民の抵抗運動が朝鮮半島の米MD配備を止められなかった場合、次の段階としてはアストラハン州のアシュルク射撃場において、今度は実際に合同で弾道標的を迎撃する訓練が行われるだろうと踏んでいる。

以上、専門家としてのエヴセーエフ氏の見解をご紹介したが、これはスプートニク日本のそれとは必ずしも一致していないことを補足しておく。

<http://sptnkne.ws/bVRD>

ウクライナのスポーツ選手 オリンピックからのロシア選手排除を非難

(スプートニク 2016年08月17日 09:01)

◎ REUTERS/ Sergei Karpukhin 1/2 <http://goo.gl/0Nc66u>

リオデジャネイロ五輪 2016 に参加しているウクライナの女子やり投げ選手、エカテリーナ・デルン選手は、競技からロシア選手を排除することに反対した。デルン選手は次のように述べている—

「ライバルが多ければ多いほど、競技会の雰囲気は良くなり、競争のレベルが高くなるのは分かりきっている。もちろん、リオ五輪にロシア選手が参加できないことは、ひどいことだ。どんな影響があるか、想像もできない。やはりオリンピックは、平和の祭典であり、すべての国が参加すべきだ。」

このように述べたデルン選手はまた「政治はスポーツニア介入してはならない。しかし現在、そうしたことがしばしば起きている」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/bVRG>

中東カオスのエスカレートは日本の政治に影響するか？

(スプートニク 2016年08月17日 10:07 タチヤナ・フロニ)

◎ Sputnik/ Andrei Stenin <http://goo.gl/pdkzBB>

専門家らの間では、かつて米国はテロ組織「アルカイダ」の強化を自らの手で促したがために、

結果的にはこれが 2001 年 9 月 11 日の同時多発テロの惨劇を招いたという見解がある。市民に最大の惨禍を招いている「ダーイシュ（IS）」。このような組織を中東でいわゆる「カオス」を作り出すために米国が支持しているのではという問いは、こんにち一般の間でもよく提起されている。9.11 テロの後と同様、すでに米国は「ダーイシュ」を相手にした闘いを余儀なくされた。それは「アルカイダ」の時と同様に状況はすでにコントロールをはずれており、米国人自身にも脅威をもたらしているからだ。

時に日本だが、アジア太平洋地域では米国の主たる戦略同盟国である、ということが中東における米国の政策を完全に支持することになるのだろうか？ これについて著名な政治学者でモスクワ国際関係大学の東洋学科のドミトリー・ストレリツォフ教授はスプートニクに対して次のような見解を語っている。

ストレリツォフ教授：「1970 年代からすでに日本は中東における自国権益を主張するかなり連続的な政策を行ってきた。日本は、イスラエル、ひいては米国の政策とある意味で矛盾しようとも、アラブ世界の大多数の諸国と友好的関係を維持しようとしてきている。これは 70 年代に起きたオイルショック時に現れたものだ。いずれにせよ日本はイラクでかなり積極的に行動し、中東プロセスで著しい役割を演じようとした。今の状況に関していえばもちろん日本は、2001 年のニューヨークのツインタワーの攻撃があった段階からすでに反テロ闘争で米国を支持する立場をとってきた。当時日本が、これは前代未聞のことだったが非常に迅速に法改正を行い、テロとの闘いに加わり、平和創設、人道ミッションに参加するために中東に自国の自衛隊を派遣したのも偶然ではない。こうしたことはイラクでもアフガニスタンでも行われた。そして今の状況も例外ではない。だが今のはこれはテロ闘争における質的に新たな段階だ。」

——この新たな段階は中東における日本の国益に沿うものだろうか？

ストレリツォフ教授：「中東における日本の国益は、日本が使うエネルギー資源の 8 割を、いや、別の評価では 9 割をまさに中東から得ていることに関係する。ともかく石油は中東からだ。だから日本はアラビア半島のスンニー派諸国とは良好で友好的な関係を結ばざるを得ない。依存しているのは中近東全体と、いっても過言ではない。このため日本はこの意味では米国をはじめとする同盟国の後ろにまわって危険を避けるしかない。しかも今の時期は日本が憲法の平和主義的立場から退き、今まで続けてきた受動的なアプローチから国家安全保障へと移り変わろうとしていることと重なっている。これはすべて、日本が世界において今すぐにも完全な軍事大国になること、世界のあらゆるプロセスに自国の軍事ポテンシャルに依拠して積極的に参加する国へとなることに通じている。このコンテキストで考えた場合、私は日本は世界で展開しているテロとの闘いから外れた位置にいるわけにいかないと思う。今、欧州で起きていることは日本にも及ぶということになる。フランスやドイツと道徳的な連帯を示すにはとどまらない。日本にだってイスラム原理主義組織からの直接的な脅威は及ぶだろう。なぜなら日本は IS にとっては欧州諸国と何ら変わらない敵なのだから。」

——強まる脅威に日本はどう反応するだろうか？

ストレリツォフ教授：「日本は、自国領内で自国民に対するテロの脅威を許さないために国内の

法規制をさらに厳格化する必要に迫られるだろう。このため、海外の自国民を守ることにに関して米国との相互行動はただ強化される一方になると思う。この観点でいうと中近東は質的に新たな連合関係を結ぶ場になる。つまりこの関係はより高いレベルへ、つまりグローバルな相互関係レベルへと引き上げられるだろう。ダーイシュとの闘い、2国の国益の保護などこれにまた中東もこうした道後行動の試験的な場となるはずだ。加えて日本は、米国が中近東において自国の戦略的連合国とみなす諸国に対する経済支援をすることになるだろう。」

<http://sptnkne.ws/bVRK>

ロスチャイルド卿「人類を対象にしたグローバルな金融実験が行われている」

(スプートニク 2016年08月17日 11:41)

© AFP 2016/ Leon Neal <http://goo.gl/76J6qj>

RIT Capital Partners 基金の総裁を務めるジェイコブ・ロスチャイルド卿は、クライアントに向けた定例書簡の中で「すでにここ数年、人類は、世界の中央銀行が行っているグローバルな金融上の実験という条件下で暮らしている。中央銀行は『空中から』記録的な量の紙幣を印刷し、歴史上最も低レベルまで金利を下げた」と指摘している。またロスチャイルド卿は「中央銀行のトップ達は、世界の歴史上、文字通り最大のマネタリー実験を続けている。それがどんな結果をもたらすかは、予見不可能だ」と述べた。

米国のバンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ（投資銀行）は、この8年間、世界の中央銀行は600回以上、金利を下げたと計算している。2008年の経済危機後、中央銀行の側から行われた資金注入の総額は、10兆ドルを超えている。なおロスチャイルド卿は、定例書簡の中で「ほとんどあらゆるタイプの投資は、資金の注入により増えたが、経済成長は微々たるもので需要も弱い、また多くの先進諸国では、相変わらずデフレがみられる」と分析している。

先に、安倍首相は世界第3の経済大国の需要をなんとか覚醒させようと再三の試みを展開と報じられた。

<http://sptnkne.ws/bVRN>

米政治学者 米軍基地の世界的弊害についての本を出版

(スプートニク 2016年08月17日 12:21)

© AFP 2016/ Toru YAMANAKA <http://goo.gl/C5EJ20>

米ワシントン大学の政治学者で人類学者デビッド・ウェイン氏は「基地国家：国外の米軍基地は米本国と世界全体にいかにか害を及ぼしているか」と題する本を書いた。同書は、米国の出版社から

出された。

ウェイン氏は、本の中で「多くの場所、中でも第二次世界大戦後占領されたドイツや日本では特に、米軍基地の存在は、摩擦と抗議を呼び起こし、例えば沖縄では、今に至るまでそれが続いている」と強調した。

またウェイン氏は「フランスやトリニダード・トバコといった国々が、1960年代に、米軍基地から逃れることができた」点にも注意を促した。

現在、米国は、世界中を網羅する約 800 もの軍事基地からなるネットワークを有している。

<http://sptnkne.ws/bVSM>

米国防総省 イラン軍基地からのロシア航空宇宙軍機による空爆をコメント

(スプートニク 2016年08月17日 14:57)

© AP Photo/ Manuel Balce Ceneta <http://goo.gl/RbgqN2>

ロシアは、テログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」戦闘員の基地空爆の際、イラン軍基地を利用することについて、あらかじめ米国に伝えてきた。米国が率いる国際有志連合の公式スポークスマンを務めるクリストファー・ハーヴァー大佐が伝えた。

大佐は、次のように述べた—

「ロシアは、シリア上空の飛行の安全に関する米国とロシアの協同行動に関する覚書に従って、有志連合に対し警告してきた。発進は、シリア及びイラク上空における有志連合の作戦に影響を与えなかった。」

先に伝えられたところによると、イランの空軍基地から離陸したロシアの爆撃機がシリアにあるダーイシュ施設を爆撃した。

<http://sptnkne.ws/bVTx>

セルビア大統領 EUの要請による対ロシア制裁導入を拒否

(スプートニク 2016年08月17日 15:45)

© Sputnik/ Aleksey Nikolskyi <http://goo.gl/cMbZGW>

セルビアのニコリッチ大統領は、首都ベオグラードで米国のバイデン副大統領と会談した際「も

しEU共通の対外政策でそれが求められるとしても、セルビアは対ロシア制裁導入を拒否する」と言明した。ニコリッチ大統領は、次のように述べた—

「我々は、もしそれがセルビアとEUの対外政策の合意に持ち込まれているとしても、対ロシア制裁を導入することはできない。我々はロシアとも、また多くのセルビア人が居住している米国とも関係を持っている。」

一方、バイデン副大統領は、セルビア大統領報道部によれば「セルビアが自分達とロシアの間で選択をすることを期待していない」と述べた。また会談の中で、ニコリッチ大統領は「セルビア国民にとって、EUへの道に勝るオプションはない」事も認めている。

先に伝えられたところによると、駐米フランス大使：EUは損失を考慮し対ロ経済制裁を解除する可能性ある。

<http://sptnkne.ws/bVWX>

プーチン大統領 今週末 クリミア訪問の意向

(スプートニク 2016年08月17日 16:17)

© Sputnik/ Mikhail Klimentyev <http://goo.gl/og69SR>

プーチン大統領は、今週末、クリミアを訪問する意向だ。ロシアの新聞「R B K (ロシア・ビジネス・コンサルティング)」が伝えた。報道によれば、プーチン大統領は、訪問中、地元指導部と会談する。また伝えられるところでは、クレムリン報道部はこの件に関しコメントを出しておらず、一方クリミアのドミトリー・ポロンスキイ副首相も、コメントを拒否した。

8月10日、ロシア連邦保安庁は、ウクライナ軍人によるクリミアでのテロと破壊工作を未然に阻止したと伝えた。なお特別作戦の過程で銃撃戦があり、その結果、ロシア国防省の軍人及び連邦保安庁職員の間には死者が出た。ウクライナ側は、今回の破壊工作への関与を否定している。

<http://sptnkne.ws/bVWV>

ロシア水泳のエフィモワ選手 「米国には荷物を取りに帰るだけ」

(スプートニク 2016年08月17日 16:46)

© Sputnik/ Alexandr Vilf <http://goo.gl/uZwTZB>

リオデジャネイロ五輪女子水泳で2つの銀メダルを獲得したロシアのユリヤ・エフィモワ選手は、米国に今後も住むつもりだとの情報を否定した。新聞「イズヴェスチヤ」が伝えた。エフィモワ選

手は「イズヴェスチヤ」紙記者の取材に対し「ロシアのマスコミは、CNNが私にしたインタビューの内容を歪めて伝えている。私は、米国に住み続けるなどとは言っていない。ロスアンゼルスのアパートは、半年分支払い済みだ。そこには荷物を取りに戻るだけだ」と答えた。

これに先立ち、エフィモワ選手は、CNNのインタビューに応じ「米国での生活は、ロシアに比べると、はるかに楽だ。アメリカは自分を変えた」と述べた。またCNNのサイト上では、彼女がオリンピック後、すでに5年以上住んでいるロスアンゼルスの実家に戻る計画であるとも伝えられている。

先に伝えられたところによると、「なぜオリンピック選手は、メダルをかじるのか」英紙が明らかにした。

<http://sptnkne.ws/bVXu>

研究者：黒海は危険になった

(スプートニク 2016年08月17日 17:49)

◎ Sputnik/ Vladimir Sergeev <http://goo.gl/J6lDhH>

この数十年で黒海での時化の回数が増えたと、ロシア科学アカデミーP.P.シルシヨフ海洋学研究所の学者が述べた。論文は科学誌「Oceanology」に掲載された。研究者は37年分の、つまり1979年からの黒海の水塊の挙動についてのデータを研究した。

研究者は1979年からの黒海での時化のデータを分析した。数学的モデリングの結果は、この25年で年平均の波の活発さが10%~15%増加していると示した。そして、いくつかの強い時化の際には黒海での波の高さが、以前の15mより5m増え、20mに達する可能性があるとも示した。

これが意味することは、黒海海岸線を補強し、黒海沿岸のエコシステムを乱す可能性のあるレクリエーション用建造物のいくつかの計画を中止する必要があるということだ。先に伝えられたところによると、研究者が、ガンが西欧を殺していると明らかにした。

<http://sptnkne.ws/bVXW>

ペテルブルク住宅で爆発2回発生（写真）

(スプートニク 2016年08月17日 19:20)

◎ Sputnik/ Nikolay Hiznyak <http://goo.gl/UZIFSa>

サンクトペテルブルク・レニンスキー大通りの住宅で2回爆発が発生した。ペテルブルク情報サ

イト「Fontanka.ru」が報じた。爆発の後、窓から煙が出たと報じられている。現在、住宅は特殊部隊によって封鎖されている。住民の避難は行われていない。建物への侵入は禁止されている。

Fontanka.ru は次のように報じた。

「小グループの特殊部隊が玄関から出て、他の特殊部隊が住宅に入っていつている。」

twitter.com/ https://twitter.com/Fontanka_spb/status/765832570919612416

ロシア連邦保安庁ペテルブルグ支部広報部がスプートニクに明らかにしたところよれば、市内では北カフカス犯罪グループのメンバーと見られている人物の逮捕のための特殊作戦が行われている。連邦保安庁は次のように述べた。

「レーニンスキー大通り 92 番地、3 号棟にあるアパートで、北カフカス地方で違法な武装集団に参加の疑いで全国手配されている人物の拘束のための措置が行われている。」

<http://sptnkne.ws/bVX7>

ロシアのスホイ 34 が、イランの基地から飛び立ち IS の陣地を空爆

(スプートニク 2016 年 08 月 17 日 19:24)

◦ 写真: Ministry of Defence of the Russian Federation <http://goo.gl/zQHkzz>

水曜日、ロシア国防省が伝えたところでは、イラン領内のハマダン空軍基地から飛び立ったロシアのスホイ 34 爆撃機が、シリア東部のデリゾール（ダイルアッザウル）県にあるテロ組織「ダーイシュ（IS、イスラム国）」の施設を空爆した。

発表の中では、次のように述べられている—

「今日、8 月 17 日ロシアの爆撃機スホイ 34 は、イラン領内にあるハマダン基地からグループで離陸し、デリゾール県にあるテログループ『ダーイシュ』の複数の施設に空から攻撃を加えた。ロシア軍機は、航空破砕爆弾 OOFAB-500 を搭載していた。」

空爆の結果、デリゾール近郊にある司令ポイント 2 ヶ所及び巨大なテロリスト野外訓練施設が破壊され、外国人雇い兵を含め 150 人以上の戦闘員が殲滅された。先に伝えられたところによると、イランの空軍基地から離陸したロシアの爆撃機がシリアにあるダーイシュ施設を爆撃した。

<http://sptnkne.ws/bVXB>

米国 韓国に海の THAAD システム作りを計画

(スプートニク 2016年08月17日 18:23)

◎ 写真: U.S. Missile Defense Agency <http://goo.gl/LHWzYT>

米国は、北朝鮮からのミサイルから韓国を守ることを口実に、朝鮮半島沖を航行する軍艦に対しミサイルシステムを搭載する考えだ。水曜日、韓国の新聞「チュナン・イルボ」が軍事筋の情報として伝えた。

報道によれば、韓国艦隊は、米国のロッキード・マーティン社との間で、2020年までに軍艦に、北朝鮮が発射した弾道ミサイルを迎撃可能なシステムを搭載することに関する契約を結んだ。

駆逐艦「偉大なる世宗（セジョン）」を含め早期警戒システム「イージス」搭載艦は、レーダー SPY-1D の助けを借りて、半径 1,000 キロの範囲でミサイルを発見可能だが、それらを撃墜する状態にはない。軍事筋によれば「改良された駆逐艦は、そうした力を持つようになるだろう」とのことだ。

また新聞「チュナン・イルボ」は国防安全フォーラムのシン・チョンウ書記の言葉を引用し「イージス艦には、THAAD ミサイル（終末高高度防衛ミサイル）システムよりも強力なレーダーが備えられている。もしさらにそこに迎撃手段がプラスされれば、韓国は、言ってみれば海上発射 THAAD ミサイルシステムを持つことになる」と伝えた。

<http://sptnkne.ws/bVZR>

英経済紙「ロシアは、原料経済国の中で外国人投資家を引き付けるリーダー」

(スプートニク 2016年08月17日 18:51)

◎ Fotolia/ Anton Gvozdikov <http://goo.gl/0XSDZd>

英国の経済新聞 Financial Times の分析部門である fDi Intelligence の調査によれば、ロシアは、外国からの直接投資の多様化に関して、原料経済国では、他をリードする立場を占めている。調査が示したところでは、2003 年から 2015 年までの期間にロシアは、分析対象となっている 39 の部門すべてで 4 千件以上もの新しいプロジェクトへの直接投資を呼び込んだ。その際、プロジェクトの件数において主導的地位を占めたのは、金融サービス、工業用機械製作、食品、タバコ、不動産といった部門だった。なおベスト 10 のランキングには、ロシアの他、ベルギー、マレーシア、ベラルーシ、ブルガリア、カザフスタンが入っている。

<http://sptnkne.ws/bWas>

安倍首相の東方経済フォーラム参加は極めて重要

(スポーツニク 2016年08月17日 19:24)

© Sputnik/ Tadyldy Kadyrbekov <http://goo.gl/S19jLS>

ユーリ・トルトネフ連邦副首相は、安倍首相と韓国のパク・クネ（朴槿恵）大統領が、ウラジオストックで開かれる第2回東方経済フォーラムに参加することは、極東の順調な経済成長の観点から極めて重要だと述べている。

トルトネフ副首相は水曜日17日、東方経済フォーラム準備、実施組織委員会会議で記者団に対し次のように述べた—

「我われは、アジア太平洋地域で働いており、極東はアジア・太平洋地域の全体の経済に含まれたときのみ首尾よく発展することができる、という考えの上に立っている。それゆえに、当然（フォーラムでの）日韓首脳の出席は我われにとって決定的な意義を持つ。」

トルトネフ副首相はまた、第2回東方経済フォーラムの参加人数は、去年の参加人数よりも5割増しだと指摘し、以下のように述べた—

「第2回東方経済フォーラムでは世界30ヵ国以上からのおよそ2万5,000人の参加者が見込まれている。」

東方経済フォーラムはウラジオストックで9月2日、3日に開かれる。

<http://sptnkne.ws/bWc8>

ロシア陸上選手 北京五輪の金メダル剥奪される

(スポーツニク 2016年08月17日 19:49)

© Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/id4iC3>

国際オリンピック委員会（IOC）は、2008年の北京五輪女子400メートルリレーに出場したユリヤ・チェルモシヤンスカヤ選手のドーピング検査で陽性反応が出たとして、ロシア女子チームの金メダルを剥奪した。IOCが、プレスリリースを通じて発表した。

こうした決定は、ドーピング再検査のあと下されたもので、2008年の北京五輪に出場したチェルモシヤンスカヤ選手のサンプル分析では、スタノゾロールとトゥリナボールを使用した痕跡が認められたという。

北京五輪で彼女は、エフゲニヤ・ポリャコワ、アレクサンドラ・フェドリワ、ユリヤ・グシチナ

選手と共に、400メートルリレーに出場し金メダルを獲得した。授与されたメダルは、返還されなければならない。

ロシアのヴィタリイ・ムトコ・スポーツ相は、この件について、次の様に述べた—

「これはニュース（新しい知らせ）などではない。北京及びロンドン五輪参加選手のサンプル再検査が行われたところ、ロシア選手も含め 98 選手にドーピング違反が見つかったという古いことについてのものだ。ただ私が理解できないのは、なぜ今の時期に、オリンピックの最中にわざわざロシア選手の名前を公表したのかという点だ。もちろん残念でならない。重大な情報攻撃が続いている。」

<http://sptnkne.ws/bWcD>

北朝鮮が寧辺で兵器級プルトニウムの生産再開

(スプートニク 2016年08月17日 20:29)

◦ AP Photo/ APTN <http://goo.gl/w5WdBy>

北朝鮮は核兵器製造に濃縮ウラン利用を続け、核実験を停止する意向はない。今日、北朝鮮の原子力研究院が共同通信に報じた。原子力研究院は次のように述べている。「核実験停止は起こらない」。また、共同通信の情報によると、原子力研究院は、北朝鮮は首都平壤の北に位置する寧辺での実験用原子炉で、核兵器の原料となるプルトニウム生産のための核燃料再処理を再開すると述べたという。共同通信によると、これは2013年の原子炉再稼働後で初となる、北朝鮮での核兵器のためのプルトニウム生産を認める公式の声明だという。

<http://sptnkne.ws/bWcM>

元ソ連人が、暮らし向きがよくなったのはソ連崩壊後か前かに答えた

(スプートニク 2016年08月17日 21:38)

◦ Sputnik/ Vsevolod Tarasevich <http://goo.gl/RHYrBj>

スプートニクによる世論調査によると、元ソ連諸国 11 カ国のうち 9 カ国の 35 歳以上の住民の大多数が、ソ連時代のほうが崩壊後よりも生活はよかったと考えている。

ソ連時代のほうが崩壊後よりも生活の質が上だったと答えた、ソ連に住んでいた回答者は、ロシアでは 64%、ウクライナでは 60% となり、そう答えた人が最も多かった国はアルメニア (71%)、アゼルバイジャン (69%) となった。

ソ連崩壊後のほうが生活がよくなったと答えたのは、35歳以上のタジキスタンの住民（55%）とウズベキスタンの住民（91%）だけだった。

ソ連での生活を覚えていない年齢18歳～24歳のグループの回答者は、ソ連崩壊後に生活は向上したと答えた。たとえば、63%のロシアの青年回答者がそう答えた。唯一モルドバでは逆に考えられていて、69%の回答者が、崩壊後よりもソ連時代のほうが生活はよかったと答えた。そこでは崩壊後のほうがよかったと答えたのは17%だけだ。

このデータは、2016年7月4日～8月15日に実施された世論調査の結果得られた。回答者は12,645人となった。

<http://sptnkne.ws/bWfu>

日露代表が26日、平和条約問題を討議

(スプートニク 2016年08月17日 23:13)

◦ 写真: Host photo agency <http://goo.gl/i6hH4p>

平和条約問題に関する日露会談が再び、8月26日モスクワで開かれる。ロシア外務省筋は、インターファクス通信に次のように述べた。

「日本との平和条約に関する会談の第3ラウンドのモスクワセッションは金曜日8月26日に開かれる。」

ロシア側からはイーゴリ・モルグロフ外務次官が、日本側からは原田親仁日露関係担当大使が出席する。

<http://sptnkne.ws/bWgX>

サンクトでの特別作戦で戦闘員3人拘束 住民の避難はなし

(スプートニク 2016年08月18日 04:29)

◦ Sputnik/ Alexei Danichev 1/2 <http://goo.gl/of2k8Q>

サンクトペテルブルグで連邦保安庁の職員らは、3人の戦闘員らを拘束した。匿名の消息筋がスプートニク記者に伝えた。彼によれば、拘束者数は、増える可能性がある。先にレーニン大通りのある家で、犯罪組織に加わっている可能性のある北カフカス出身者の拘束を目的とする、治安機関による特別作戦が実施された。

地元住民は、ソーシャルネットワーク上に、戦闘員捕獲に向けた特別作戦実施の間、問題の家の内部から爆発音や銃撃音が聞こえたときと書き込んだ。爆風により、数枚の窓ガラスが割れた模様だ。1人が負傷し、家の内部から担架にのせて運びだされ、警察官に付き添われて、病院に搬送された。この男性は、おそらく戦闘員ではないと見られている。

<http://sptnkne.ws/bWts>

空爆されたユーゴの元大統領に無罪判決 欧米の指導者達は裁かれるべきではないのか？

(スプートニク 2016年08月18日 07:04)

© AFP 2016/ Francois Xavier Marit <http://goo.gl/NrGVUy>

「旧ユーゴスラビアのスロボダン・ミロシェヴィチ元大統領に対し、ハーグの国際司法裁判所は無罪判決を下した。先に元大統領は、スレブニツァでの大量虐殺に責任があるとされていた。判決が出たのは、今年3月24日のことだったが、欧米の新聞雑誌はどれ一つとっても、この事について触れなかった」—欧州議会の元議員でジャーナリストのジュリエット・キエザ氏は、сайт Globalist Syndication のサイト上の自分のページで、そう指摘している。

キエザ氏は「いかなる公式声明も出されなかった。無罪判決自体、他の被告であるラドヴァン・カラジチ氏の判決文の中に含まれていた。ハーグの国際司法裁判所は、ミロシェヴィチ元大統領が有罪であるとの証拠を不十分だとした」と強調し、次のように続けた—

「それにもかかわらず、ミロシェビッチ氏は、刑務所で5年間過ごしたのだ。西側のマスコミはすべて例外なく、満場一致で彼を侮辱した。『バルカンの肉切人』と呼んだり、ひどいものはヒトラーと比べたりした。そしてその後、彼は刑務所の中で亡くなった。マスコミが、ここまで沈黙していることは、きわめて奇妙である。なぜならそれは、爆弾が爆発したような効果を作り出すニュースだと皆分かっているからだ。無罪判決の後、西側のリーダー達は皆それに続いて、少なくとも、謝罪すべきだったし、そうでなければ、国際戦争犯罪人法廷の被告人席に座るべきだった。」

<http://sptnkne.ws/bWtw>

オバマ氏、核の先制不使用宣言はなるか？

(スプートニク 2016年08月18日 08:03 リュドミラ・サーキャン)

© AP Photo/ Susan Walsh <http://goo.gl/Uvijfg>

英国、韓国、フランス、日本はオバマ米大統領が核の先制不使用宣言を行った場合、極めて失望するだろう。ワシントンポスト紙のジョージ・ロージン評論員は匿名の消息筋からの情報を引用し

て報じた。今年秋に大統領職を退くオバマ氏が核の先制不使用を宣言し、9月の国連安保理総会で一切の核実験を禁止する決議を審議に持ち出そうとしていることはワシントンポスト紙はすでに1月前に報じていた。当時、ロシア大統領府のペスコフ報道官はこのニュースをコメントし、「現時点では公式的な確認はどこにも出されておらず、我々には一切明らかにされていない。だがワシントンポスト紙が何も無いところからこんなニュースを持ち出したということはあるまい」と語っていた。

ロージン氏が断言するところによれば、この構想は米国内でも理解されておらず、米国の連合国からも様々な理由から憂慮を表している。例えば日韓の憂慮は北朝鮮のミサイルに関する状況であり、欧州が懸念するのは核兵器使用分野でこれを「化学兵器、生物兵器の攻撃を抑止する役割を果たす」と考える欧州諸国の政策の食い違いである。ワシントンポスト紙の指摘ではほかの諸国の政権からは米国の核の傘の下にいるすべての連合国にオバマ大統領の宣言がどう影響しうるかについて「自分たちとの協議が行われなかったことに失望の念が表され」ている。これらの国は、仮にホワイトハウスがこうした決定を採択した場合、「北朝鮮、中国、ロシアといった諸国との軍事紛争のリスクは通常兵器を用いた場合でも増大する」と考えているという。独立軍事政治学者協会に属する専門家、アレクサンドル・ペレンジエフ氏はワシントンポスト紙掲載の記事に不信感を示し、次のように語っている。

「仮にオバマ氏が実際こうした宣言を出したところで新しいことは何もない。『先制不使用』は核戦略のタームであり国家の核兵器使用の拒否を意味するが、国家自体が核攻撃を受けた場合は例外となる。中国はかつて、核の先制不使用を宣言。またソ連の最初で最後の大統領、ゴルバチョフ氏もこうした宣言を行った。問題はこれが実践的な宣言となるのか、それとも空約束なのかということであり、これに同意するかいなかではなく、その具体的内容だろう。今は対ミサイル防衛（MD）が出現しているが、このMDは核戦争のインフラだ。合意においてMDというファクターを考慮しないわけにいかない。なぜならこれはまさに核攻撃からの防衛のために存在しているからだ。だがこの問題をオバマ氏は理解していない。第3に仮にオバマ氏がこうした宣言を行ったとしても、ほかの国もこの例に倣う保証は一切ない。NATO諸国の核兵器は英仏にもあるがこの2国は一切の義務を負っておらず、軍縮交渉にも全く顔を出してこなかった。核兵器はインドにもパキスタンにもイスラエル、北朝鮮にもある。これらの国はどうするのだ？これが、熾烈化する米国の大統領選挙キャンペーンの枠内で何らかの目的をおうものである可能性も十分にある。それとも政治ではなく歴史上でのオバマ氏のイメージ作り作業なのか。平和を創設した者として歴史に名を残す試みなのかもしれない。いずれにせよ、後世の人間は何の貢献がたたえられてオバマ氏にノーベル平和賞が渡されたんだろうと疑問に思うだろう。」

ジャパントイムズ紙はロージン氏の記事に関して日本政府代表者らにコメントをとろうとしたが、得られた回答は「米国は様々なパターンを検討しており、現時点では政治的決定はとられておらず、我々も個々のニュースにコメントすることはできない」というものだった。

<http://sptnkne.ws/bWty>

2020年までにロシアは音速の7倍速いミサイルを作る

(スプートニク 2016年08月18日 09:01)

© Sputnik/ <http://goo.gl/fdo5uN>

2020年までにロシアでは音速の6倍～7倍の速度で飛ぶミサイルが開発される。このような仮説はロシアの「戦術ミサイル兵器」社のボリス・オブノソフ代表取締役役によって17日に述べられた。

オブノソフ代表取締役役は次のように述べる—

「私は、20年代初めには音速の6～7倍の速度のミサイル製造が祝われていると思います。」

オブノソフ代表取締役役によると、このようなミサイル製造は既存の防空兵器を顕著に弱めるといふ。「戦術ミサイル兵器」社は2002年に設立され、非戦略ミサイルシステム、「空対空」ミサイル、そして一連の他種の兵器のロシアの主な製造会社を統合している。

<http://sptnkne.ws/bWtz>

ドル制度を拒否のBRICSが迎える地政学的な激変

(スプートニク 2016年08月18日 09:26)

© Flickr/ Images Money <http://goo.gl/mNU4c5>

金融分野を専門とするジャーナリスト、エルンスト・ヴォルフ氏はいわゆる移行経済期にある諸国の経済ポテンシャルはまだ使い果たされていないとの見方を示している。BRICS諸国（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）は世界経済の国際舞台でプレーヤーとしての確固とした地位を築いている。これによってドルは圧力を感じ始めており、これによって地政学的な激変が起きるかもしれない。

スプートニク：BRICS諸国は独自の銀行を開設しましたが、これは徐々に足元を固めていると思われませんか？

ヴォルフ氏：「その通りです。この新開発銀行は徐々に発展しており、米国はすでにこれに懐疑的な目を向け始めています。問題なのは新開発銀行はドルのシステム内で作業をしているためにドルシステムを尊重せざるをえない。我々が忘れてはならないのは、国際金融システムはドルのシステムだということです。そして世界で唯一ドルを印刷する権利を有している機関が米国の連邦準備銀行です。米国はここ数年で実際に、全世界が米国を尊重せねばならない仕組みを作り上げることに成功しています。」

スプートニク：米国の金融経済からのしがらみを断ち切り、別の主導的通貨を作り出すことは可

能ですか？

ヴォルフ氏：「これを米国人は全力で阻止しようと必死です。このシステムから抜け出そうという試みは今までもありましたが、これは血塗られた結末を迎えました。たとえばサダム・フセイン氏は自国の石油をドルではなくユーロで売ろうとしましたが。カダフィ大佐も金で兌換できる通貨を開始しようとした。その結果がどうなったでしょう。今この2人ともがこの世に存在していません。表現を変えれば、米国は自国システムを維持するためならあらゆる手段を択ばないのです。」

スプートニク：ロシアもまたトルコと組んで独自の経済回廊を作る試みを開始していますが。

ヴォルフ氏：「そうですね。トルコとの発展プロセスは関心を呼んでいます。プーチン、エルドアン両大統領は先の会談で両国の取引をルーブル、リラ建てで決済することを合意しました。これは米国に対する宣戦布告であり、サダム・フセイン、カダフィ大佐が行おうとしたことに類似しています。これがどうなっていくか、私には興味がありますね。」

<http://sptnkne.ws/bWt3>

なぜ北朝鮮に対する制裁は望んだ結果をもたらさないのか？

(スプートニク 2016年08月18日 10:07)

◎ REUTERS/ KCNA <http://goo.gl/u80Sb6>

ロシアの東洋学者アンドレイ・ランコフ教授は最近の論文で、北朝鮮への制裁導入の非効率性について語り、一連の根拠ある論を述べている。

制裁体制の非効率性の証拠としてランコフ教授は、国連安保理決議第2270号を挙げた。この決議によって国連は今年3月、対北朝鮮の新たな制裁を発動した。ランコフ教授によると、制裁の非効率性に影響を及ぼしているのは、中国の矛盾したポジションだという。

「理論的には決議案は北朝鮮からの鉄鉱石と石炭輸出を禁止したが、同時に北朝鮮が輸出からの収益を国民の生活の目的のために利用する場合、購買国は北朝鮮団体と取引を成立させる権利を有する。」

だが、輸出による収益が何に使われたかを証明することは、実質的に不可能だ。国連自らも、制裁の目的は北朝鮮経済の破壊ではなく、北朝鮮エリートの生活の最大限の困窮化にあると断言している。

実際には北朝鮮高官はこの制裁を特に心配していない。北朝鮮への奢侈品輸入の形式的制限は、高級品店の事業には特に影響しない。奢侈品は中国を通して届けられるのだ。

結論としてランコフ教授は、制裁のかわりにより多くの文化的交流を実現し、北朝鮮人が外の世界を知ることによって彼らが極度に遅れたタイプの社会に住んでいると理解することを助けたほうが、はるかに生産的だっただろうと指摘している。

ニュース・ソースはこちら。<https://goo.gl/33ZgQI>

<http://sptnkne.ws/bWtV>